

NIIGATA
Culture
Tourism

新潟県 上越

NIIGATA
Culture
Tourism



— ニイガタ カルチャー ツーリズム —

豊かさを体感する旅へ。



少し肌寒いけれど、
歩くのがいい。
桜色の風が吹き抜ける、
高田の春。

高田城址公園観桜会



高田世界館

日本最古級の現役映画館。
席に座れば、
自分も銀幕のなかにいるよう。



笹簀寿司

陣中の上杉謙信公がルーツ
だったのかもしれない
妙高の郷土料理。



今年の旅はどこに行こうと考えていますか？

昼は青い空に浮かぶ雲のように、夜はぼんぼりの灯りに照らし出され力強いピンク色に。

日本三大夜桜の一つに数えられる高田城址公園の桜は、

約4000本の桜が一斉に咲き、

雪国に春の訪れを感じさせてくれます。

その近くには現存する日本最古級の映画館、高田世界館が。

明治時代の洋館の佇まいをそのままにした館内に身を置けば、

当時にタイムトリップしたようなノスタルジックな気持ちになります。

緑色が鮮やかな笹に包まれているのは、この地で昔から食べられている笹簀寿司（ささみずし）。

かつて上杉謙信が合戦の際に笹の葉に飯を包んで食べたことが、誕生の一説として今に伝えられています。

山菜や季節の野菜を主にして作る素朴な郷土料理は、心に染みていくようなおいしさです。

そして、日本の国石であり世界最古といわれるヒスイの産地が糸魚川。

美しい海岸でのヒスイ探しは、思わず夢中になってしまいます。

旅のイメージは膨らみましたか？

目指すは新潟県の上越です。

じょう 越つ

豊かな自然に抱かれた新潟県上越地方には、長い歴史の中でさまざまな文化が根付き、

そこに暮らす人たちによって今日まで守り、受け継がれてきました。

本誌では、ぜひともみなさんの目にしてほしい風景や食べてほしい地元の味、

会ってほしい人など、上越への旅のきっかけを収録しました。

きっと、たくさんの驚きや感動、

そして心のなかがあたたかいもので満たされていく出会いが

あなたを待っているはずです。

さあ、上越の文化を体感し、心豊かにする旅へ。



「見つけてやろうなんて思ったらダメなんだ。きれいな石をひとつ、ふたつ持って帰ろうかなって気持ちで探すといいんだよ」。

「あとは根気だな(笑)」と地元のおじさん。

ヒスイ海岸

CONTENTS

- 08 特集1
城下町・高田を歩く
- 18 プンカビト1
小川善司(高田髻女の文化を保存・発信する会)
- 20 ミニ特集1
町家活用クロストーク
- 22 ミニ特集2
町家に泊ってみよう
- 24 プンカビト2
吉田節子(吉田バテンレース)
- 26 特集2
発酵のまち、上越の昔と今
- 38 上越市 文化カタログ
- 44 ミニ特集3
開湯200年を超える、大自然に抱かれた赤倉温泉
- 48 プンカビト3
岡田均、孝子(笹箕寿司/民宿 はるみ荘)
- 50 ミニ特集4
レルヒの功績が実を結んだ上越のスキー産業と文化
- 52 子どもと一緒に1
糸魚川ジオステーション ジオパルで鉄道に親しもう
- 54 特集3
県の石、ヒスイの故郷を訪ねて
- 64 ミニ特集5
奴奈川姫ゆかりの神社で心願成就
- 68 ミニ特集6
未来のため大火を学び、再起を応援
- 70 特集4
上杉謙信公ゆかりの地へ
- 80 ミニ特集7
上越が生んだ文化人の記念館へ
- 82 子どもと一緒に2
小林古径記念美術館で美術館デビューしよう!
- 84 妙高市・糸魚川市 文化カタログ
- 89 子どもと一緒に3
上越科学館で科学を体験しながら楽しもう
- 90 イベントカレンダー
- 92 上越エリア MAP
- 96 ミニ特集8
ほくほく線に揺られてぶんかさんぽ

本誌のマーク表示について

ピクトグラムは紹介している文化・文化財のジャンルを表しています。

-  食
LOCAL FOOD
-  まつり・イベント
FESTIVAL
-  自然・環境
NATURE
-  史跡・建造物
HISTORIC SITES & BUILDINGS
-  産業
LOCAL INDUSTRY
-  伝統工芸
TRADITIONAL CRAFTS
-  生活文化
LIFE CULTURE
-  芸術・芸能
PERFORMING ARTS

表紙について

高田世界館
詳細はp.14

◎ Special Movie



本ガイドブックと連動したスペシャルムービーはこちらから。



※掲載内容は2023年12月10日現在のものです。日程、内容、料金などは予告なく変更または中止となる場合があります。お出かけの前にご確認ください。
※掲載施設、店舗の営業日、営業時間、定休日等は大型連休、お盆、年末年始には変更される場合があります。また、降雪・積雪によって変更となる場合があります。お出かけの前にご確認ください。
※一部写真はイメージです。実際の内容とは異なる場合がございます。
※掲載内容により生じたトラブルや損害等について、発行元では補償いたしかねますので、予めご了承ください。

Welcome to
Joetsu area,
Niigata Prefecture

新潟県上越地域について



新潟県は本州の日本海沿岸のほぼ中央部に位置し、本土のほかに日本海に浮かぶ離島、佐渡島と粟島がある。面積は12,584平方キロメートルで全国5位。

本誌で紹介するのは上越市(じょうえつし)、糸魚川市(いといがわし)、妙高市(みょうこうし)からなる上越地方。新潟県の南西部を指し、富山県、長野県に隣接する。かつての越後国の時代には上方(京都)に一番近かったことから上越後(かみえちご)と呼ばれていたが、のちに「後」が省略されて上越と呼ばれるようになった。

上越市は古くから交通の要衝として栄え、直江津港をはじめ、陸路として北陸自動車道、上信越自動車道が走り、2015年には北陸新幹線が開業。人口は18万人あまりで県内では新潟市、長岡市に次いで3番目。戦国武将・上杉謙信の故郷としても知られる。

その西側にあるのが糸魚川市。日本の東西の境界線「糸魚川―静岡構造線」が有名だ。また、日本の国石であり、新潟県の石に指定されているヒスイの産地としても名高い。

妙高市は日本百名山の秀峰・妙高山や火打山、妙高戸隠連山国立公園などの豊かな自然が特徴。また、湧出量豊富な温泉やたくさんあるスキー場があり、多くの観光客が訪れる。

桜雲に包まれる春の高田。
雁木を歩けば
この土地のあたたかさを
感じるはず

WALKING AROUND THE CASTLE TOWN OF TAKADA



城下町・高田を歩く

JOETSU



深雪の城下町で 絆を育んだ雁木通り



徳川家康の六男、松平忠輝が築いた高田城。

城を取り囲むように武家町、町人町、寺院が配置された町の構造は、400年前の姿を今に残す。

城下町と雪国の文化と知恵を 今に伝える高田の町

古くもあり、新しさもある。高田の町を歩いていると、町のところどころでそう感じる風景がある。春は高田城址公園の満開の桜が町を彩り、夏は新緑と高田城外堀の華麗な蓮が出迎える、冬には雪が積もった雁木の下を子どもたちが元気に駆け抜ける。高田の町で暮らす人々は、先人たちが築き上げてきた場所や知恵、技術を消し去ることなく、現代に大切に受け継いでいるのが伝わってくるかのようだ。

城下町としての高田の歴史は、約400年前に遡る。高田城は1614年、徳川家康の六男、松平忠輝によって築城。高田城下には交通や流通の要となる北国街道と北陸道を引き込み、碁盤目のような整然とした町割をし

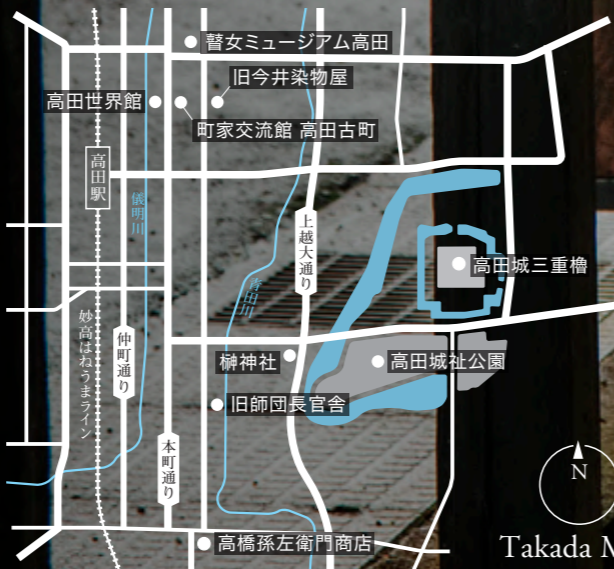


た。そこに家臣の屋敷を構えた武家町、商人や職人が暮らす町人町、寺院や神社を配した寺町が形成された。現在の高田の町の地図を見ても、その名残をとどめていることが分かる。

今も積雪量が多いことで知られる高田は、江戸時代は「この下に高田あり」と高札が立てられたほどの豪雪地帯。そんな中、冬でも人々の往来ができるようにと造られたのが雁木（がんど）だ。雁木とは各々の家の前に張り出した庇（かぶ）のことで、鳥の雁（がん）が飛ぶ様子に例えて名付けられたともいわれる。高田城下に雁木が造られたのは松平光長（1624年～1681年）の時代との説が有力。通路の上部を物置や居室として利用できる造り込み式雁木が多く造られた後、明治以降は主屋に雁木を付け足す形の落とし式雁木が主流となり、時代の流れや必要性に応じて雁木も変化してきた。積雪が2メートル近くになると、通りは家の1階の高さまで雪に埋まり、雁木の前面には雪の壁が立ちほだかった。それにもめげず、人々は道路に積もった雪の中にトンネルを掘ったり、家の2階部分を出入口として行き来し、雁木の下では人々のつながりや交流が保た

れていた。雪国独特の知恵はなんとも力強く、そして人の心の温かさを感じられずにはいられない。

現在、高田には総延長12.8キロメートルもの雁木が連なる。庇の高さや雁木の下への舗装など一軒一軒の違いを楽しめるのも興味深い。雁木はあくまでそれぞれの家の母屋の一部であり、雁木の下は個々の私有地だ。雪深い町で暮らす人々の互いを思いやる優しさが生んだ雁木という空間。通る際には感謝の気持ちを忘れずに歩きたい。



Takada Map

日本三大夜桜の一つ 4000本の桜と高田城三重櫓の 華麗なコラボレーション

まつり・イベント FESTIVAL たかだじょうしこうえんかんおうかい 高田城址公園観桜会

春は桜、夏は蓮の名所として親しまれる高田城址公園。公園とその周辺に約4,000本のソメイヨシノが咲き誇り、桜の見頃と共に開催される「高田城址公園観桜会」は春の訪れを告げる上越地域の一大イベント。日本三大夜桜の一つと呼ばれていて、昼の華やかな桜並木はもちろん、約3,000個ものぼんぼりの灯りに照らされた幻想的で美しい夜桜も必見。期間中は露店が並び、県内外から多くの花見客が訪れる。

data
2024年3月29日(金)～4月14日(日)
会場:高田城址公園
問:上越観光コンベンション協会
tel.025-543-2777

WALKING AROUND
THE CASTLE TOWN
OF TAKADA



城下町・高田を歩く



入口にある長岡外史中将の銅像。横に伸びる口ひげが立派。退役後は高田公園の桜の育成にも尽力した人だ



レストランエリス
オーナーシェフ
米谷太雅さん
Hiromasa Yoneya

高田の町を歩く



史跡・建造物
HISTORIC SITES & BUILDINGS



食
LOCAL FOOD

きゅうしだんちょうかんしゃ／レストランエリス

旧師団長官舎／
レストランエリス

和洋折衷のモダンな空間で
料理と共に非日常を味わう

上越市内に残る明治期の貴重な和洋折衷の木造建築物。かつては旧陸軍高田第13師団第3代師団長である長岡外史中将の邸宅として建てられ、南城町にあったものを現在地に移築・復元された。1994年1月に上越市文化財に指定され、2021年には大規模な修繕が行われ、現在は1階にレストランエリス、2階はカフェスペースとして活用されている。レストランエリスでは、上越近郊や県内各地から選りすぐった素材でアレンジしたフランス料理を提供。「上越の食文化や歴史を取り入れた、全く新しい郷土料理を考えていきたいです」とオーナーシェフの米谷さん。モダンな建築物と庭園を眺めながら味わう時間は、ここでしか体験できない優雅なひとときを約束してくれる。

data

新潟県上越市大町2-3-30
tel.025-526-5903
11:30~14:30 / 18:00~22:00
月休 22席 Pあり



感じてみよう！



1
2 | 3

1 白い外壁と縦長の窓の形がモダンな印象の外観 2 各部屋は1組ずつの貸し切りとなり、ゆっくと食事が楽しめる 3 窓の外の回遊式庭園を眺められる2階のスペース。ゆったりとした時間の流れを感じる空間だ



4 | 5

4 喫茶スペースではコーヒーやスイーツをいただける 5 ランチ(4,400円～)、ディナー(7,700円～)とも完全予約制。コース料理で提供される



いざ、
高田城下町
探訪へ。

高田城、雁木通りと町家造り。ゆっくと歩くからこそおもしろい。

WALKING AROUND
THE CASTLE TOWN
OF TAKADA



城下町・高田を歩く

高田の町を歩く



史跡・建造物
HISTORIC SITES & BUILDINGS

ただじょうさんじゅうやぐら

高田城三重櫓

高田城の荘厳な佇まいを
彷彿とさせる高田のシンボル

1614年に築城された高田城の象徴だった三重櫓。明治期に解体されたが、上越市発足20周年記念事業の一環として櫓の再建が計画され、1993年に展示室や展望台を備えた観光施設として建設された。外観は松平光長「本丸御殿図絵」、建物の規模は稲葉正通時代の「高田城図間尺」を基に設計され、高田城が存在した当時の絵図や古文書、発掘調査による詳細な調査・研究結果を取り入れながら復元された。周囲を堀と桜並木に囲まれ、1、2階は高田城にまつわる資料の展示、3階部分は展望台で高田城址公園周辺と遠くの山々を望む絶景スポットだ。「かつてこの地は越後の中心だったわけです。そのことを感じていただけるのがこの場所です」と花岡さん。

data

新潟県上越市本城町6-1
tel.025-524-3120(上越市立歴史博物館)
9:00~17:00(12月~3月は10:00~16:00)
月休(祝の場合は翌日) 入館料:大人310円、小中高校生160円 Pあり

1 展望台から望む堀と街並み。新緑も美しい 2 展示室ではVRで再現された高田城を体感できる 3 石垣ではなく土を高く盛った土塁をめぐらせているのも特徴のひとつだ

1
2
3



上越市立歴史博物館
統括学芸員
花岡公貴さん
Koki Hanaoka





雁木の町は瞽女のふるさと
その生き方に触れてほしい



高田の町を歩く

4



ごぜミュージアムたかだ 瞽女ミュージアム高田

瞽女(ごぜ)とは盲目の女旅芸人のこと。ハンデを持ちながらも、生計を立てるために三味線を片手に周辺の農村地を廻り、長い物語り唄や民謡などを披露して米や金を得ていた。室町時代から全国にいとされるが、最後まで残っていたのが新潟といわれる。ここではかつての瞽女たちの様子を映像や写真を通して知ることができる。また、新潟の瞽女に惹かれ、独特の感性でその姿を描いた洋画家・斎藤真一の作品も展示されている。

data
新潟県上越市東本町1-2-33
tel.025-522-3400(事務局・小川)
10:00~16:00(最終入館15:50) 月~金休
入館料:大人500円、学生300円、中学生以下無料 Pあり

1 広々とした吹き抜けは町家ならではの。貴重な映像や写真から瞽女の文化や生き方が学べる
2 たくさんの資料が保存されていて、自由に閲覧できる
3・4 斎藤真一の作品の数々。雪国ならではの風景と瞽女の姿を実に印象的かつドラマチックに描いている

1
2 | 3 | 4

高田の町を歩く

5



さかさじんじゃ 榊神社

創建は1876年。徳川四天王といわれ、高田藩祖としてさまざまな功績を残したといわれる榊原康政をご祭神として祀るため、家臣たちが寄付を募って建立した神社だ。広い境内には立派な杉が生い茂り、町の喧騒を感じさせない厳かな空気が漂う。歴代藩主や藩士の遺品が展示された雙輪館(そうりんかん)も併設され、高田城址公園観桜会期間に合わせて一般公開される。

data
新潟県上越市大手町4-12
tel.025-523-5276
Pあり

1 高田城址公園から徒歩5分ほど。高田の町散策の途中で参拝に訪れたい
2 雙輪館では榊原家ゆかりの鎧、冑、刀剣などを所蔵
3 初詣や初宮参り、七五三など多くの市民が参拝に訪れる

1
2 | 3



高田藩の功績を伝える
榊原家ゆかりの神社



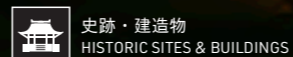
1 | 2 | 3

1 ロビーの木棚には、映画のパンフレットやチラシが置かれている
2 ガラス越しにチケットを販売する受付もレトロな趣
3 革張りのソファ席など1階とは異なる質感の椅子が印象的な2階席



高田の町を歩く

3



たかだせいかい 高田世界館

ノスタルジーに浸る
築110余年の
日本最古級の映画館

国の登録有形文化財や近代化産業遺産に登録された現役の映画館。2000年に閉館の危機が訪れるも、貴重な空間を残そうと有志が再生に奔走。修繕を重ね、ミニシアターとして生まれ変わった。雁木通りにある看板を目印に、回廊を抜けて入り口に入ると、タイムスリップしたかのようなレトロな空間が広がる。高田でも数少ない擬洋風建築の一つで、深紅の座席、細部に趣向を凝らした木組みの天井、昔のままの趣が残る映写室と、どこを切っても絵になる。上野支配人は「高田でも貴重な明治期の擬洋風建築で、歴史の積み重なりをダイレクトに感じていただける空間です。建築と共に映画も楽しんでいただきたいです」と力強く語る。映画鑑賞はもちろん、上映の合間であれば建物の見学も可能。映画文化遺産を体感したい。

data
新潟県上越市本町6-4-21
tel.025-520-7626
9:30~20:00
火休 Pあり



高田世界館 支配人
上野迪音さん
Michinari Ueno



WALKING AROUND
THE CASTLE TOWN
OF TAKADA



城下町・高田を歩く



1
2 | 3

1 十返舎一九直筆の掛け軸。優しいタッチが旅の喜びを物語っている 2 黄金色美しい看板商品の『栗飴』 3 十返舎一九は著書『金の草鞋』で、この店の繁盛ぶりを狂歌と絵で描写するほどのお気に入りだったとか



高橋孫左衛門商店
14代店主
高橋孫左衛門さん
Magozaemon Takahashi

4
5

4 創業当時、粟に麦芽を加えて糖化して作られたという『栗飴』。1790年以後は粟の代わりにもち米で作っている 5 寒天と砂糖によるもっちりとした食感が特徴の『翁飴』は町歩きのおともに



雁木の上には堂々たる看板が。
400年という歴史の重みを感じさせてくれる

高田の町を歩く 8

史跡・建造物
HISTORIC SITES & BUILDINGS

食
LOCAL FOOD

たかはしまごえもんしょうてん

高橋孫左衛門商店

歴史上の著名人に愛された 日本最古の飴屋

創業は江戸時代。以来400年以上、高田で飴作りを営んできた飴屋である。飴屋としての歴史は日本で最も古く「東海道中膝栗毛」の著者・十返舎一九や夏目漱石、明治時代には北陸巡幸で高田を訪れた明治天皇も飴を購入されており、数々の歴史上の人物に愛され続けてきたという逸話が残る。創業当時から作り続ける『栗飴』（あわあめ）や水飴を寒天で固めた『翁飴』（おきなあめ）などは、北国街道を行き交う人々に土産物として親しまれ、全国にもその評判が知れ渡ったという。「先代は高価だった砂糖の代わりに、飴作りに粟やもち米などを使って優しい甘さを引き出しました。そのアイデアと工夫、おいしさを味わっていただきたいです」と14代店主。

店舗2階は小さな展示場。十返舎一九が店に滞在した際に書いたとされる書と絵は必見だ。事前連絡で見学可能なので、ぜひこれを目的にして訪れてほしい。

data 新潟県上越市南本町3-7-2 tel.025-524-1188
8:30~19:00 水休 Pあり



上越市文化観光部
文化振興課
徳永将来さん
Masaki Tokunaga

高田の町を歩く 6

史跡・建造物
HISTORIC SITES & BUILDINGS

まちやこうりゅうかん たかだこまち

町家交流館 高田小町

明治時代に建築された町家「旧小妻屋」を再生し、誰もが利用できる交流施設として活用した町家。主屋には伝統的な町家の造りを残し、奥にある土蔵の中も見学が可能で、上越の町家の風情を余すことなく楽しめる。「上越の町家の特徴でもある高い吹き抜け、明かり取りの小窓などが状態良く残されています。ぜひ建物の隅々までご観覧ください」と上越市文化観光部文化振興課の徳永さん。入館や見学は無料で、展示空間やトイレなども併設。高田の町歩きの案内所や休憩場所としても利用したい。

data
新潟県上越市本町6-3-4 tel.025-526-8103
9:00~19:00 第4月休 入館料:無料 Pあり

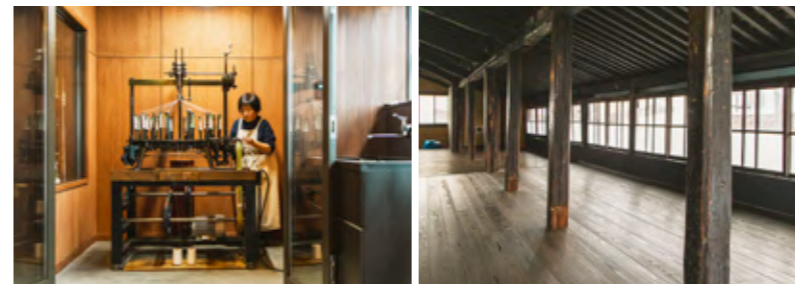


明治期の町家を活用した 観光文化交流施設

1 2 1 柱と立派な梁が重なり合う主屋。階段を使って2階に上ることもできる
2 ミセの空間では雁木に関する歴史や資料を展示 3 改装された土蔵はギャラリーとしても活用されている



数少ない造り込み式雁木が残る 上越最古・最大級の町家建築



1
2 | 3

1 技術・意匠の面でも貴重とされるチャノマの梁は必見 2 パテンレースの常設工房では、糸をテープ状に編み上げるブレード織機を展示。運がよければ作業が見られる 3 造り込み式の雁木の上には、かつての職人の居住空間が残されている



上越市文化観光部
文化振興課
飯田千春さん
Chibaru Iida

高田の町を歩く 7

史跡・建造物
HISTORIC SITES & BUILDINGS

伝統工芸
TRADITIONAL CRAFTS

きゅうまいそめものや

旧今井染物屋

上越市内に現存する町家の中でも最も古く、最大級の広さを有する町家。建物奥には染色の作業場や土間が残され、染物屋を生業とした今井家の歴史が垣間見える。三間四方の広いチャノマは高い吹き抜けの空間が特徴。2021年にはパテンレースの常設工房を設置し、パテンレースの作品やその材料となるブレードの織機を展示している。「今では貴重な意匠や技術を間近で見ることができる空間です。ぜひパテンレースと共に、その歴史に触れてみてください」と飯田さん。

data
新潟県上越市大町5-5-7 tel.025-520-9788
10:00~17:00 月休
入館料:無料 Pあり

「高田に瞽女さんがいたことを
誇りに思えるんです」



高田瞽女の文化を保存・発信する会
小川善司さん

小川善司さん
Zenji Ogawa

瞽女ミュージアム高田の近くにあり、120年ほどの歴史を持つ物店、きもの小川の店主。瞽女の文化を全国に伝える高田瞽女の文化を保存・発信する会の事務局としても精力的に活動。瞽女ミュージアム高田の運営をはじめ、瞽女唄演奏会や高田瞽女ゆかりの地を巡るバスツアーなどを企画・運営する。

古くは室町時代に書かれた書物にもその姿が記されているという瞽女(こげ)。「明治時代の最盛期には89人もの瞽女がこの地で集団生活を営んでいたことから「高田瞽女」と呼ばれるようになった。盲目という大きなハンデを背負いながらも、厳しい修行と戒律に耐え、旅芸人として三味線を携えて各地を巡り唄を披露していたとされる。「年間で約300日をすべて歩いて移動しながら高田や唄を頸城一円、時には信州や高崎あたりまで旅をしたそうです。生まれつき、あるいは病気やケガが原因で失明してしまった6〜7歳の女児が、大人になって親に先立たれた

た後にも、きちんと自立して生きていくようにと、芸を身に付けさせたのが瞽女の成り立ちといわれています。新潟県は全国で最も長く瞽女の文化が近代まで残っていた場所といわれている。「明治時代の初期、全国で最も人口が多かったのが新潟でした。そしてそのほとんどが農村で米作りをする農家です。いわば、瞽女さんたちが訪れて芸を披露する場所が多くあったわけ、それが瞽女文化が長く続いた理由のひとつでもあります」。唄を披露してくれたお札に農家の人たちは瞽女にお米を渡した。だが、徒歩での長い旅の中でたくさんのお米を持ち歩くこ

とはできないので、当時各地にあった瞽女が泊まる宿が、お金と引き換えにそのお米を買い取っていた。そのお米のことを「瞽女の百人米」と呼ぶのだ。「驚くことに、瞽女さんの唄を聞いた農家の人たちがそのお米をまた買い戻しに来るんです。瞽女さんは目が見えないにもかかわらず、毎年こんな田舎の山の中まで来て素晴らしい唄を聴かせてくれる。きっと、すごい霊力を持った人なんだ。そんな瞽女さんが集めたお米なのだから、きっとご利益があるはずだと、買い戻して自分の子どもに食べさせたと聞きます」。

瞽女と聞くと「かわいそう」「大変な人生」を想像してしまうが、小川さんはそうではないと笑顔で断言する。「瞽女さんの歴史をしっかりと紐解いて知れば知るほど、この仕事に誇りをもって力強く、自立した人生を送った姿が見えてくるんです。その生き方に感動しますし、明日に向かう勇気をもられます。そして、私が暮らす高田に瞽女さんがいたことを誇りに思えるんです」。

今でこそ当たり前だが、この当時から身体的ハンデのある人たちが生きがいを持って暮らせる環境や文化が、この高田に根付いていたという事実も全国に誇るべきものだと思える。



2023年5月13日に天林寺で行われた瞽女唄演奏会。かつて毎年5月13日は瞽女の守り神である弁財天の御開帳があり、高田の瞽女が一堂に会する日だった



「瞽女さんの存在を
若い世代に伝えていきたい」



杖をつき、前の人の背中に手をかけ連なって歩き各集落を廻った。少しだけ目の見える弱視の人などが先頭に立ち「手引き」という役を務めた

高田

町家活用 クロストーク

町家を利活用したカフェや企業が点在。
運営する方たちのトークセッションで見た
町家のよさ、可能性とは？

●高田を選んだ理由、町家をリノベーションして事業を始めようと思っただけですか？

大塚・僕は生粋の高田っ子で、18歳までこの地で過ごしました。住んでいた頃は雁木や町家が当たり前の光景でしたが、大人になって帰省した際、町家が次々と空き地になっていくのを見て寂しい気持ちになりました。自分の規模感でできることを考えた時に、僕の好きなコーヒーを提供できるお店を開こうと思っただけです。

白石・総務省の地域創生事業「ふるさとテレワーク推進事業」に採択され、上越市の協力のもと、2017年4月に上越サテライトオフィスを構えました。弊社の代表取締役社長は新潟県妙高市の出

時代の先端をいくIT企業と町家のよい化学反応がある(白石)

空気の流れや季節を感じる豊かな暮らしができる(大塚)

不便は人をきちんとした生活にしてくれる(岡尾)



史跡・建造物
HISTORIC SITES & BUILDINGS

身で高田高校の卒業生。テラスカイにとって上越市はゆかりのある地域でした。私は千葉出身で元々東京本社で働いていましたが、職場環境を変えてみたいと考えていた時期と重なって移住を決意。2024年で7年目になります。

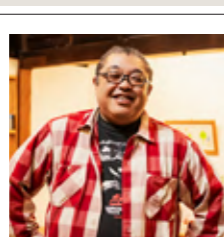
岡尾・今まで全国50ヶ所ほどの地域でアニメや映画を使った町おこしを手掛けてきました。高田はそのうちのひとつに過ぎず、引越すとか本社を移転するなんて考えはありませんでした。そんな時、長年タッグを組んでいる制作プロデューサーが上越市出身ということを知り、その方の縁や上越市のバックアップもあって本社の移転を視野に入れるようになりました。

●町家を利活用して高田で仕事をする魅力やメリットは？

白石・仕事の内容は本社にいた頃と変わりません。東京のオフィスはたくさんある社員が働いていて、気分転換に外へ出ても人がいっぱい。その点、サテライトオフィスの社員数は現在9名、高田の町は時の流れがゆったりとしていて落ち着いています。田舎ならではの静けさが集中力を高めてくれるんです。都会の暮らしより物足りないものもあるんですけど、地方だからこそ楽しめる自然や空気が

あると思います。仕事の用事で東京に出かける時も、満員電車に乗らず北陸新幹線で楽々行けるので快適です。

大塚・普段は東京にいて、イラストレーター兼アートディレクターとして絵を描いたり広告のディレクションをしたりしながら、定期的に高田で過ごす2拠点生活を送っています。現在進行形の仕事があれば持ってきて、落ち着く環境の中で作業を進めることができます。そして、上越は何を食べてもおいしい！仕事を終えた後にお刺身と地酒を味わうひとときは至福の時間です。



スタジオ藍丸
ディレクター
岡尾貴洋さん
Takabiro Okao

岡尾・アニメ制作会社は全国に約400社ありますが、そのうちの9割が東京都。正直、都内でやっていた方が楽。なぜならスポンサーやスタッフ、相談相手が近くにいるから。ただ、この最大のメリットは何かというと、周りに競合他社がないので、若手アニメーターを育て、増やしていけることじゃないでしょうか。あと

は、電車が1時間に1本だったり、お店の閉店時間が早かったりするので、自然と時間に厳しくなって規則正しい生活リズムを作ることができるようになりました。夜、人に会う時間がなくなった分、さらに机に向かうことができると気持ちがいいですね。



テラスカイ 上越サテライトオフィス
製品開発本部マネージャー
白石 聡さん
Satoshi Shiraishi

●今後の展望を教えてください。
白石・地域に溶け込み、社員が働いて楽しい場所にしていきたいです。東京に出たエンジニアのUターン・Iターンの選択肢にもなれたらいいなと思います。社員数を増やしてもっと大きなことをしていきたいです。古き良き町家とIT企業のギャップを活かして、プログラミングの技術やおもしろさを発信していきたいと思っています。

岡尾・地元の人に受け入れられる心配でしたが、訪れるたびに町の雰囲気や人の温かさが心地よくて、いつしか「住みたい」と考えるようになりました。高田を舞台にしたアニメを作るのもいいです

が、アニメを制作している町として周知していきたいです。いつか都内にあるアニメ制作会社を呼び込んで、若手アニメーターが働ける町を作りたいな。雁木通りにアニメの会社がいくつもあって、各社の1階フロアにそれぞれの作品が飾ってあるなんて素敵じゃないですか。



DIGMOG COFFEE
オーナー
大塚いちおさん
Ichio Otsuka

大塚・町歩きをしながらコーヒーを飲んだり、豆を買って自宅で飲んだり、高田の町ってコーヒーと相性が良いと思うんです。僕の母が友人やご近所さんを招いて飲んでいた日本茶が、時々コーヒーに代わるように、地元の方に自然と寄り添えるお店になれたらと思います。地元の方にも観光客の方にもおいしいと感じてもらえるコーヒーを提供していきたいし、このお店が元気になる場所の一つになれたらいいな。そんな取り組みがいつしか町全体に作用して、雁木を保存する、町家を再利用することに繋がったらうれしいです。

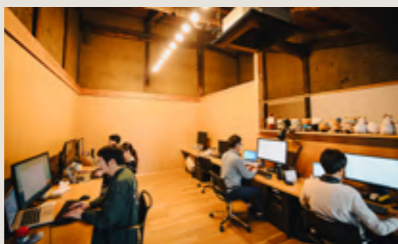
／ 企業紹介 ／



スタジオらんまる
スタジオ藍丸

『がんばれ!おでんくん』や『忍たま乱太郎』など、人気作品を数多く手掛けるアニメ制作会社。2023年に東京都練馬区から本社を移転し、岡尾ディレクターと三重県出身の若手アニメーターの2名が在籍。1階フロアには原画や台本を展示したミュージアムを設け、地域の子どもの憩いの場となっている。

data 新潟県上越市大町5-1-16
tel.090-3806-6328



テラスカイ じょうえつサテライトオフィス
テラスカイ 上越サテライトオフィス

クラウドサービスを開発・提供するIT企業。呉服屋だった築130年の町家をリノベーションした同オフィスでは、現在9名の社員が働いている。新潟県に縁のあるエンジニアの受け皿を目指すほか、上越市の小学校を対象にプログラミングを教える出前授業を開催するなど、IT技術を活かした地方創生に取り組んでいる。

data 新潟県上越市本町6-4-22
問:03-5255-3410(東京本社大代表)



ディグモグ コーヒー
DIGMOG COFFEE

NHK Eテレ『みいつけた!』でお馴染みのキャラクター「コッシー」や、上越妙高駅のお出迎えキャラクター「ウェルモ」の作者である大塚いちおさんが手掛けるカフェ。足袋屋だった築150年の町家を改装した建物の1階で自家焙煎のコーヒーを提供している。浅煎り・深煎りのブレンド豆、オリジナルグッズも販売。

data 新潟県上越市仲町4-3-14
tel.070-2794-5701 11:00~17:00
火水休(祝の場合は営業)ほか Pなし

町家に泊まってみよう



町家をリノベーションした宿泊施設に泊まることで、この土地の文化を感じることが出来る。



現代風にアレンジした町家でノスタルジックな夜を過ごす

上越市高田・仲町の雁木通りでひときわ存在感を放つ建物がある。この建物はかつて芸者置屋だった町家をリノベーションした複合施設だ。1階はお茶と和菓子を提供する「多賀茶焙煎所」、2階が1日1組限定の宿泊施設『izen高田多賀』となっている。いずれも上越市を中心に料亭や酒蔵、福祉施設、メディア事業など多岐にわたる事業を手掛ける大島グループが運営している。「上越市の観光業を盛り上げるべく、古き良き町家をいかした宿泊業に力を入れています。自社で確立した食やお土産のコンテンツと運動し、町歩きのコースを構築していけたらと思います」。こう話すのはizen高田多賀の運営に携わっている庄山さん。芸者置屋というだけあって建物自体がとても大きく、町家特有のユニークな構造になっている。かつて隣にはもう一軒町家が建っており、取り壊され

たことで露わになった外壁に継ぎ接ぎトタンが施されている。それはまるでパッチワークを思わせるアートのようだ。「頭上に張り巡らされた電話線や梁の骨組みはそのままだに、当時の面影を残しながらも優雅なひとときを過ごせるように改装しました」。和と洋の要素が互いの良さを引き立て合うように共存した和モダンな雰囲気漂う。特にこだわったという寝室は、外国人観光客に日本の文化を感じてもらいたいという思いから、畳を底上げしてベッドのような形状に仕上げている。また、室内には当時のままのすりガラスや伝統工芸の組子が施され、ノスタルジックでありながらワンランク上の空間を演出。旅の疲れを癒しつつ、思い出を昇華するひとときになりそうだ。また、夕食は目の前にある『百年料亭宇喜世(うきよ)』がおすすすめ。国の登録有形文化財に指定された由緒ある料亭で、上越の旬の味覚を味わえる。かつて花街として栄えた仲町の夜を心ゆくまで堪能したい。



チェックイン時のサービスで、1階の多賀茶焙煎所にて通常価格より500円引きでお茶を提供。ほうじ茶をはじめ、新潟県村上産の緑茶などを用意している。朝は焙煎した茶葉の香りが2階まで漂ってくるんだとか

1 3
2

1キッチンやテレビを完備したリビングルーム。大きなソファでくつろぎながら、旅の思い出を語り合おう。気に入った食器は1階のお土産売り場で購入可 2玄関に設置された黒板には周辺のマップと町歩きの手引になる注目スポットが記されている。行き当たりばったりの旅も楽しい、3リビングルームと寝室を繋ぐ開放的な吹き抜け部分。寝ても覚めても非日常な空間に感動できる



大島グループ 大島自動車販売 代表取締役社長 庄山武志さん Takeshi Shoyama

生活文化 LIFE CULTURE



izen高田 多賀

data 新潟県上越市仲町3-1-9
tel.080-2081-0883
宿泊料金:素泊まり44,000~88,000円(2~6名)
Pあり

「繊細なバテンレースには
雪国の根気強さが宿っています」



吉田バテンレース
吉田節子さん

吉田節子さん
Setsuko Yoshida

1950年、上越市生まれ。明治時代に祖父が創業したバテンレース業を営む家で生まれ、幼い頃からバテンレースに携わる職人の姿や技術を見て育つ。高校卒業後は県外に進学した後、上越へ戻り家業に入る。2023年からはバテンレースを次世代に受け継ぐため、製造に関する講座も行う。

ブレード織機で糸が織られて出来上がるブレード。両端に引き糸があり、それを引いてカーブを作っていく



1 小千谷縮とバテンレースで作られた日傘。レース部分の生地を抜かず、紫外線対策を施した 2 旧今井染物屋で見学ができるブレード織機。ポピンが回る様子に見入ってしまう 3 図案は今も手描き。型紙に沿って縫い進めていく

「年配の方には懐かしく、
若い人には新しい」

れることを評価する人は少なくなかった。「ブレード工場なども周りから撤退し、バテンレースを作るのはいよいようちだけになりました。でも、ブレードの製造から図案描き、縫い付けから漂白、アイロン仕上げまで当社で一貫してできることがかえってよかったです。前よりも丁寧なものづくりに向き合えるようになりました」。

レットロブームの昨今、バテンレースも例外ではない。催事出店に向くと年配客には懐かしがられ、若い人には関心を持たれることが増えた。「お客様との会話を通じてアイデアも浮かん

でくるんです」と吉田さんは微笑む。店舗の一角では、バテンレースを施した日傘やバッグ、洋服や付け襟がディスプレイされ、実に華やかだ。「最近個人利用のものの一部にバテンレースが取り入れられることが多くなりました。お安くはないけれど、本当に価値のあるものを持ちたいという現代人の価値観にバテンレースはマッチしたのでしょうか。本当にね、お金を換えられない喜びがあります」。今まで以上にバテンレースの普及と伝承に励む吉田さん。この先、どんな未来と文化を描くのが楽しみだ。

バテンレースとは、糸を幅1センチほどのテープ状に編んだブレードと呼ばれる縁飾りで図柄の輪郭を描き、その輪郭の内側に糸1本でかがり縫いで模様を施すレース製品。ピアノのカバーやテーブルクロス、ランチヨンマットの一端など、身近なところで見かけることも多い。初めて触れてみた時は繊細な見た目に反して、しっかりとした生地の作りに驚いたものだ。

新潟におけるバテンレースは、1892年に高田で吉田虎八郎が雪の多い高田の冬の内職として製造を始めたの

が最初といわれる。虎八郎の孫であり、その技術を受け継ぐのが吉田バテンレースの三代目である吉田節子さん。「農閑期に女性たちが子守りしながらできる仕事で、高田の風土に合致したのだと思います。昔は8000人近くの内職の方々がおいでになられたそうです。細かい作業だけれど、雪が多い高田の人たちの根気強さで作りに上げてきたのでしょうか」。

バテンレースの一大生産地になった高田。一時的な衰退も経験したが、バテンレースがほかにはない技術で作ら



今日の発酵文化の礎は
上越にあり

JOETSU FERMENTATION CULTURE



発酵のまち、
上越の昔と今

JOETSU/ITOIGAWA/MYOKO





8 | 9
| 10

8 園内の留春亭（るしゅんてい）は、「まさに男の隠れ家。雪椿の咲く時期には扉を開け、雪椿を見ながらお酒を楽しみました」と笠原館長。このページの全面写真は留春亭の中を撮影したもの 9.10 園内に植えられた約190本の雪椿は、博士が頭城の産業になるように育て、保存にも尽力した。博士が詠んだ歌の碑もある

1 | 2 | 3

1 「麹菌から日本酒を作った坂口博士の名前を知らない酒蔵はない」と館長。日本酒の製造方法を解明した名著を残した 2 さまざまな人と交流しながら発酵文化の発展に貢献（写真左が坂口博士） 3 東京帝国大学（現 東京大学）時代の坂口博士（写真左端）



photo_上越市提供

photo_上越市提供

発酵文化の第一人者



PHOTO_上越市提供 撮影・植田川三氏

坂口謹一郎

さかぐち きんいちろう

発酵学の父と慕われた微生物の世界的研究者

上越市は味噌や醤油、日本酒、ワインなど発酵食品の製造が盛んで、古くから微生物を利用した発酵・醸造の技術が伝わる。夏は高温多湿、冬も雪による低温多湿で発酵に適した気候風土があり、厳しい冬を越すために味噌や麹を使った保存食が郷土料理として発酵文化を育んだ。その背景には応用微生物学の世界的権威・坂口謹一郎の存在が大きい。

「坂口博士の発酵研究によって、ここ頭城（くびき）地区に多くの杜氏が生まれました。博士のことをもっとたくさんの人に知ってほしい」と坂口記念館の館長・笠原昇治さん。1897年、現在の上越市東本町に生まれた坂口謹一郎は、麹菌が日本酒や味噌、醤油を作る発酵工程を科学的に解析し、今日の発酵工業の発展に貢献した。1967年には応用微生物学の功績が認められ文化勲章を受章。岩の原葡萄園の川上善兵衛のワイン造りにも協力し、川上善兵衛と寿屋（現サントリーホールディングス）の社

長・鳥井信治郎を結びつけ、日本ワイン隆盛の基礎を築いた。

そんな坂口博士の功績を体感できる坂口記念館は、戦時中、博士が疎開してきた場所に建つ。酒造りの道具や博士の業績を展示する「酒杜（もり）り館」、坂口家の旧家の趣がある「楽縫庵（らくほうあん）」、「隠れ家のような小屋」留春亭（るしゅんてい）を見学できる。博士は東京に戻ってからもたびたびこちらを訪れ、和歌を詠み、地元の蔵人や文化人と酒を酌み交わしたという。「留春亭」の風流な佇まいや雪椿園内の歌碑からも魅力的な人柄が偲ばれる。

そんな博士の功績を伝える市民団体の活動も盛んだ。「上越発酵鍋開発普及実行委員会」は、上越産の酒粕を入れた名物鍋を地域の飲食店で提供する「さかきん（坂口博士の愛称）発酵鍋プロジェクト」などを企画。「発酵学の父 坂口謹一郎顕彰会」が功績を後世に伝えるマンガ「坂口謹一郎ものがたり」を出版するなど、坂口博士の功績とそれにより育まれた発酵文化は、これからも、発酵のま

6 | 5 | 4
7

4 「楽縫庵（らくほうあん）」には和室が3部屋あり、貸し切り利用可能 5 かつての蔵人が酒造りに使用した貴重な道具を展示する酒杜り館 6 酒杜り館2Fでは博士の遺品や業績を紹介 7 坂口博士の功績を分かりやすく伝えるマンガ「坂口謹一郎ものがたり」



館長 笠原昇治さん Syoji Kasabara

上越市（旧頸城村）生まれ。もともとは電車運転士で、退職後、現職に。坂口記念館オリジナルの藍染めの法被がよく似合う。



史跡・建造物 HISTORIC SITES & BUILDINGS

坂口記念館

data
新潟県上越市頸城区鶴ノ木148
tel.025-530-3100
10:00~16:00 月休(祝の場合は翌日)、祝日の翌日、12月~2月は一部休館の施設あり
入館料:310円(中学生以下は無料)、楽縫庵の占用は別途有料 Pあり



日本のワイン 葡萄の父



川上善兵衛

かわかみぜんべえ



日本の気候風土に合わせた ワイン用葡萄を品種改良

1890年創業の老舗ワイナリー、岩の原葡萄園。葡萄畑に囲まれた園内の「川上善兵衛記念館」は1階がワインを試飲できるショップ、2階にレストランと川上善兵衛資料室を併設。ぜひ見てほしいのが、現存する日本最古のワイン醸造場（現・樽熟成庫として使用）「第1号石蔵」（国登録有形文化財）と、「第2号石蔵」（上越市指定文化財）。当時の営みを伝える唯一無二の空間だ。

岩の原葡萄園の創業者の川上善兵衛は1868年、現在の上越市大字北方の大地主の息子として生まれた。地元になたな産業を造るべく、22歳で岩の原ワイナリーを創業。「雪国の上越は葡萄栽培に適した土地ではありません。苦労があったと思います」と企画・広報担当の今井圭介さん。雨が多い日本では葡萄はうまく育たないため、善兵衛は54歳から日本の気

JOETSU
FERMENTATION
CULTURE



発酵のまち、
上越の昔と今



6

7

6 1898年に建てられ、上越市の指定文化財となっている「第2号石蔵」の入口。ノスタルジックな空間で明治時代にタイムスリップ 7 雪室から冷気を取り込みワインを熟成する「第2号石蔵」。保存した雪で発酵桶の周りを囲むことで、冷却設備のない時代に雪国ならではの冷却技術を実現した ※このページの背景全面写真は「第1号石蔵」の中で撮影したもの



8

9

8 「第1号石蔵」で熟成している『深雪花（みゆきばな）』は、毎日の食卓で気軽に飲んでほしいワインを追求。今井さんのおすすめはロゼ 9 『善兵衛プレミアムワイン』は、善兵衛が生んだ自社畑の5品種の葡萄を商品化した自信作だ

候風土に適した葡萄を求め品種改良に挑み、1万3111回の品種交雑の中から「マスカット・ベリーA」をはじめとする優良な22品種を発表した。「ワインの造り方は収穫した葡萄を絞って温度管理をして発酵させると、とてもシンプル。ワインの味の70%は葡萄の味で決まると言われ、それだけに素材が大事です」。また、善兵衛は地元雪を活用し、雪室を併設した第2号石蔵で日本初の低温発酵・低温貯蔵のワイン造りを始めた先駆者。葡萄栽培やワイン造りの知識・技術を広く公開し、ワイン造りの発展に大きく貢献した。

現在、6ヘクタールの自社畑では善兵衛が生み出した5品種の葡萄を栽培。「世界のワイナリーでも、創業者が葡萄の品種改良を手掛けて自分のワイナリーで生まれた品種でワインを造るケースはとても珍しく、うちのワインの強みです。この5品種で世界に進出したい」と今井さん。米どころ新潟に酒蔵が多いことは知られているが、雪深いこの地でワインが造られてきた奥深い歴史を知らない人も多い。川上善兵衛記念館から石蔵や高田平野を一望できる見晴らし台、葡萄畑へも足を伸ばして、1世紀余りの時を超える善兵衛のワイン造りの歴史や思いをぜひ感じて。



感じてみよう！



史跡・建造物
HISTORIC SITES & BUILDINGS

かわかみぜんべえきねんかん
川上善兵衛記念館
(岩の原葡萄園内)

data 新潟県上越市北方1223
tel.025-528-4002(岩の原葡萄園)
9:30~16:30
水休(ほか臨時休業もあり)
見学無料
Pあり

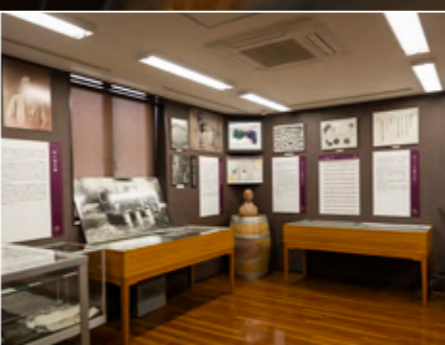


企画・広報担当
今井圭介さん
Keisuke Imai

妙高市(旧新井市)出身。ワインセミナー講師も務める。ワインに合うおすすめのおつまみは意外にも鍋などの和食でイチオシは「板わさ」。

1 川上善兵衛記念館2階の資料室。善兵衛が取り組んだ葡萄の品種交雑やワイン造りの歴史がテーマ別に展示されている 2 妙高連山のすそ野がなだらかに日本海に接する越後・高田平野。1890年、善兵衛がここに葡萄園を作ったところから岩の原葡萄園の歴史は始まった 3 幼少期の川上善兵衛。幼名は「芳太郎」だった 4 明治時代のワイン醸造の様子 5 ワイン熟成庫である石蔵を雪で冷却。雪を利用したワイン造りを行っていた

1 | 2 | 3 | 4 | 5



クラフトビール

CRAFT BEER

2022年にオープンした上越初のクラフトビール製造所および直売所。香り高いエールタイプのビールを新鮮な状態で提供するため100ミリリットル単位の量り売りで販売。ビール専用ボトル「グラウラー」や生ビール専用充填機のグッドデザインにもときめく。カウンターでグラウラーに詰める様子を眺めるのも楽しい。「パン作りの発酵技術を参考にしたリ、ホップIIハーブと考える独自のイメージを広げています」



1 麦汁生成は手作業で行う。まさにクラフト! 2 マローネには上越市三和区の栗を贅沢に使用 3 量り売り専用の充填機。容器内の空気を炭酸ガスで出してから生ビールを充填することで香りの劣化を防ぐ

と醸造責任者の横井穂高さん。料理人の経験も活かして作る個性的なビールは、柑橘系の香りが良い「グレープエール」、小麦麦芽がクリーミーな泡立ちの「グラノーエール」、栗をブレンドした黒ビール「マローネ」。苦み強めの「ドッピオモルト」はお客様からのリクエスト。「上越の水を使ったクラフトビールの、できたて」を味わって。ビールの苦手な人にも飲んでほしいです。好みの味をテイクアウトしてみたい。



食 LOCAL FOOD
クラフトビールじょうぞうじょ テラ
クラフトビール醸造所 テラ
data
新潟県上越市寺町3-16-4 tel.080-8372-9277
金土日祝の12:00~16:00 月火水木休 Pあり

発酵の現場を訪ねて

老舗味噌店とクラフトビールの新星。地元で愛される発酵食品の店



手作業で丁寧に仕込んだ麴が
ふわりと味噌汁に浮き上がる



代表取締役
杉田貴子さん
Takako Sugita
1級みそ製造技能士、認定みそソムリエ、発酵食エキスパート1級取得。坂口謹一郎顕彰会に所属し、小学生への出前授業も行う。

味噌

MISO

約200年前の江戸時代に創業した蔵元。米麴屋から味噌作りがはじまり、今も昔ながらの手作業を守り、4日間かけて米麴を作る。米麴を贅沢に使った看板商品『雪の花みそ』で味噌汁を作ると麴がふわりと浮き上がる。上越特有のこの味噌は、味噌の発酵過程で米内部のでんぷんが溶出し、袋状になって浮くことから「浮き糍みそ」と呼ばれる。「発酵に適した上越の気候風土と米どころで麴を贅沢に使えたことからできたといわれています」と代表取締役の杉田貴子さん。味噌や甘酒、味噌漬のほかに雪室で貯蔵した味噌や予約製の限定味噌も扱う。発酵前の味噌を自宅で発酵させて楽しむ人や麴から塩麴や甘酒を作る人も多く、発酵が人々の暮らしに溶け込んでいる。「伝統の味を残すことはもちろん、味噌の可能性を広げるために味噌のお菓子やチーズの味噌漬を考案しました。食文化が変化する中で食卓に味噌を提案していきたいです」。



米麴は良質の米を使わないとこのように米の形が残らない。味噌の発酵に欠かせない酵素が豊富に含まれている

1 江戸時代からの伝統で米の蒸しから出麹まで手作業で行う 2 工場が100年前から仕込みに使われていた高さ約170センチ直径約130センチの木桶を2022年1月から店頭看板に 3 『雪の花みそ』は米麴が醸し出す甘さと爽やかな発酵香が特徴



食 LOCAL FOOD
すぎたみそじょうぞうじょ
杉田味噌醸造場
data
新潟県上越市本町4丁目3-16
tel.025-525-2512
9:30~18:00 水休 Pあり



量り売りスタイルが楽しい
できたてのおいしさを味わって



醸造責任者/料理人
横井穂高さん
Hodaka Yokoi
糸魚川市出身。イタリア料理人を目指し大阪で修行後にイタリアへ。帰国後、上越市のイタリア料理店「ラ・ベントラッチャ」のシェフに就任。

JOETSU
FERMENTATION
CULTURE
発酵のまち、
上越の昔と今



さくら百嘉店 発酵プラス マネージャー

池亀 杏奈さん

Anna Ikekame

入社するまで気が付かなかった地元の発酵食品のおいしさと健康効果に魅了されている。店内の食品はすべて実際に試食した自信作。



伝統の味と新作をつなぐ
発酵のセレクトショップ



1
2 | 3

1 池亀さんが選んだパッケージもかわいい、女性向け商品。地元のロングセラー「サンドパン」「笹だんごパン」に新鋭の「発酵プリン」「フルーツ酵素シロップ」「雪蓮茶」「味噌スイーツ」 2 上越の味噌・醤油を集めた人気コーナー 3 広い店内をゆっくり回ってお土産を探そう

食 LOCAL FOOD

さくら百嘉店
発酵プラス

data
新潟県上越市大道福田621
あるあるの杜内
tel.025-520-8830
9:30~17:30
水休
Pあり

上越エリアの野菜や肉、魚を扱う直売所「あるあるの杜」敷地内にある発酵をテーマにした食品や日用品のセレクトショップ。地元上越に伝わる味噌や醤油、お酒に発酵をアレンジした新作スイーツを織り交ぜつつ、京都の発酵食堂カモシカや岩手の岩泉ヨーグルトなど全国で注目を集める発酵食品まで千点以上をラインナップ。「上越の発酵食品をここまで集めたショップは初めてです。メンマやお茶など『こんなものまで発酵食品なんだ!』と驚いてください」とマネージャーの池亀杏奈さん。池亀さんおすすめのオリジナル「発酵プリン」は、カラメルソースに味噌を使っており、発酵による濃厚なうま味を味わえる。「発酵食品はおいしくて、体にもやさしい。ここで見つけた発酵食品を食べてもらえば体の中から健康美人になれます」と話す池亀さんも、お肌ツルツルの発酵美人。伝統の発酵技術の魅力と現代風アレンジ商品を発信するこちらのお店で、知らなかった発酵食品との出会いを楽しみたい。



CAFE HAYASHI 代表

酒井 宏明さん、酒井 里香さん

Hiroaki Sakai Rika Sakai

デザイナーが本業の宏明さんは屋敷や庭の管理など担当。料理担当の里香さんは子どもから高齢者まで気軽に楽しめる発酵スイーツを目指す。

感じてみよう!



JOETSU
FERMENTATION
CULTURE



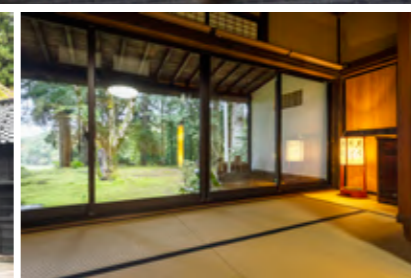
発酵のまち、
上越の昔と今

発酵文化を味わう

観光客も地元の常連も通う、
発酵を満喫できるカフェとショップ



文化財カフェで味わう
発酵ごはん&スイーツ



1
2 | 3 | 4

1 発酵をテーマにした4種の軽食と4種の発酵スイーツ、計8品を二段の箱に詰めたアフタヌーンティー風の「八酵手織り箱」2,500円(数量限定) 2 歴史と風格を感じさせる茅葺き屋根の邸宅 3 季節ごとの庭の景色に癒やされる 4 茹であずきと米麹で発酵させたあんこをのせた「発酵あんこの白玉あんみつ」。飲み物付き1,100円

食 LOCAL FOOD

カフェハヤシ
CAFE
HAYASHI

data
新潟県上越市三和区
神田2245-24 林富永邸内
tel.025-532-2602
金土日祝の10:00~17:00
月火水木休(冬期休業あり)
席15
Pあり

築140年の上越市指定文化財・林富永邸を利用したカフェ。林富永家7代目当主の長女・酒井里香さんと夫の宏明さんは「屋敷の維持保存とともに、もっとこの空間を楽しんでもらえたら」と長野から移住し、2020年6月に CAFE HAYASHI をスタート。ほぼ建築当時のままとしいう茅葺き屋根の母屋の窓からは杉苔を敷き詰めた枯山水庭園が望める。非日常感あふれる空間でいただけるのは同じ三和区にある丸山酒造所の酒粕と米麹を用いた発酵スイーツ。料理研究家の里香さんは発酵食スペシャリストの資格を持ち、自家製発酵調味料を作るなどさまざまな手法で発酵の味わいを引き出す。チーズケーキは酒粕と自家製豆乳ヨーグルトを加えた濃厚な味わい。酒粕パウンドケーキは酒粕の芳醇な香りや食感に驚くはずだ。発酵スイーツとともに軽食を箱に詰めた「八酵手織り箱」も発酵食の魅力が満載。「発酵スイーツのおいしさとともに酒粕を使った料理で発酵の楽しさを伝えていきたい」と里香さん。



発酵のまち、
上越の昔と今

発酵文化を支える

雪室

地元愛から生まれた
雪室商品で
地域を盛り上げる

温度や湿度を管理された状態で発酵食品を寝かせておくと、熟成により味や品質が向上する。全国でも有数の多雪地帯のこの地域では、伝統の保存技術「雪室」を活用してさまざまな食品を熟成させている。「冷蔵庫は設定温度に対しプラスマイナス2〜3度を繰り返すので食材にス

トレスがかりますが、雪室は天然の冷気で冷やし続けることで温度変化が少なく、年間を通じて低温貯蔵で熟成が可能。米や野菜はでんぷん質が糖化で甘くなり、肉は熟成肉に。コーヒーは熟成するときに不快臭（アルデヒド類）が抜けて、飲み口と香りが良くなります」と解説する、雪室推進プロジェクト理事の永見伸之さん。永見さんが試行錯誤の末に完成させた「雪室珈琲」は、その後、新潟市の鈴木コーヒーとの連携によ

り人気商品として幅広く周知されるように。雪室で貯蔵した食材を加工して商品開発を行う上越市の雪室推進プロジェクトには、杉田味噌醸造場の商品や永見さんが手掛ける「雪室ジェラート」などもラインナップされている。「商品開発は本当に大変で、正直、地元愛があったからこそ進められた。今後も上越の雪室ブランド力を高めていきたい」と永見さん。地域への思いも熟成させる雪室商品にぜひ注目。

生活文化
LIFE CULTURE



雪室推進プロジェクト理事
永見伸之さん
Nobuyuki Nagami

上越市のカフェ「ヘブンスカフェ」[Sakura de la noche]の代表で、雪室推進プロジェクトを創設時から支えるひとり。ミュージシャンとしての顔も持ち、地元上越の盛り上げに日々奮闘している。

雪室推進プロジェクトとは
雪室を中心とした雪の利活用を通じて上越地域の発展に貢献しよう、地元への愛着を持ったメンバーで2015年12月に発足したプロジェクト。

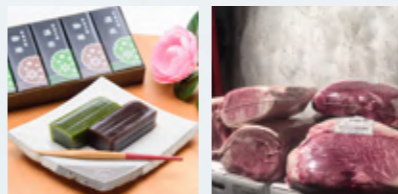


- 1 1・2 上越市安塚区樽田にある雪中貯蔵施設「ユキノハコ」の貯雪室および雪入れ作業の様子。天然の雪を利用した、まさに雪国ならではの冷房システムだ
- 2 3 上越市安塚区和田にある「和田雪室」の内部。雪室推進プロジェクトの雪室商品の多くがここで熟成されている
- 3

雪室を活用した商品例



雪室珈琲 (イメージ写真) 長期水溫熟成雪室緑茶



雪室羊羹 雪むろ芳醇和牛



雪室食パン 雪室ジェラート

数ある雪室商品のなかから、上越市「雪室推進プロジェクト」のメンバーが手掛けた主な商品を紹介。上越エリアのさまざまなショップで販売されている

発酵文化が息づく

上越・妙高・糸魚川地域の

発酵食品を味わおう

「かんずり」



【生産者】
ゆうげんがいしゃ かんずり
有限会社かんずり
data
【本社】新潟県妙高市西条437-1
tel.0255-72-3813



塩漬けのトウガラシを雪の上にさらし、あくを抜き、柚子や糀などと混ぜて発酵させた伝統の調味料「かんずり」。戦国武将、上杉謙信公の陣中食として使用されたといわれ、現代でも冬の鍋物料理、夏のスタミナ料理など四季を通じて応用できる万能香辛調味料だ。主たる材料のトウガラシの雪さらし(写真)は、この地の冬の風物詩としても有名。まさに雪国ならではの発酵調味料「かんずり」は、自宅で普段使いができるのでお土産にも最適。高速道路のSAでも購入可能。

【たらこの糀漬】



【販売店】
わたべせんぎょてん
渡部鮮魚店
data
新潟県上越市本町4-2-26
tel.025-523-7324
9:30~18:00 日休 Pなし

北海道産のスケソウダラの卵巣(たらこ)を、同じ商店街の杉田味噌醸造場の麹と塩で漬け込んだ珍味。生では糀のまろやかな甘みが楽しめる。焼くとたらこの粒の食感が引き立ち、糀の香りが口の中に広がる。上越でも高田地区だけで売られている名物商品。

【最後の一滴(魚醬)】



【販売店】
にいがたかいようこうアンテナショップのうすいしょうてん
新潟海洋高校アンテナショップ
能水商店
data
新潟県糸魚川市能生小泊3596-2
道の駅マリンドリーム能生内
tel.025-555-7345 9:00~17:00 無休

新潟県立海洋高等学校の食品科学コースの生徒が、産卵で地元の河川(糸魚川市能生川)に帰ってきた鮭を有効利用するために2013年に開発した鮭の魚醬「最後の一滴」。料理にひと匙加えるだけで、味の深みやコク・ほのかな魚の風味を付与し、食べた際の感動に繋がる魚醬だ。

【どぶろく】



【生産者】
どぶろくそう
どぶろく荘
data
新潟県上越市牧区坪山1055-3
tel.025-533-5643

上越市の自然豊かな山間地に佇む農家民宿「どぶろく荘」。こちら自家製の特別栽培米コヒカリを100%使って仕込んだ「どぶろく」は、香り高く素朴な味わいが高く評価され、農林水産大臣賞など全国の品評会で大賞を多数受賞している逸品。

【雪むろ酒かすラーメン】



【提供店】
たんぼぼラーメン
たんぼぼラーメン
data
新潟県上越市三和区神明町1290-56
tel.025-532-2739
11:00~14:00/17:00~20:30(火は昼のみ営業)
水休 席45 P15台

酒かすを使った、新潟県の中でも雪深く酒蔵も多い上越ならではの「雪むろ酒かすラーメン」の名称を商標登録し、市内の多くの飲食店とともに普及に取り組んでいる。写真はそこのひとつ、たんぼぼラーメンの「元祖雪室酒かすみそラーメン」。



JOETSU CITY Culture Tourism
かまぶたいせきガイド
07 釜蓋遺跡ガイド
史跡・建造物 HISTORIC SITES & BUILDINGS



約2,000年前の上越の中心地
史跡・公園の散策や勾玉作りなどが楽しめる

弥 生時代終わり頃から古墳時代初め頃にかけて営まれた集落の遺跡。川と濠(ほり)で囲まれ、当時の上越の中心地であったと推定されており、近隣の吹上遺跡・斐太遺跡と合わせて「斐太遺跡群」として国の史跡に指定されている。遺跡の出土品展示のほか、体験学習も楽しめる。

data
新潟県上越市大和5-4-7
tel.025-520-7166
9:00~17:00
火休(祝の場合は翌日)
入館無料(体験は一部有料)
Pあり

JOETSU CITY Culture Tourism
にんぎょづかんでんせつのは
08 人魚塚伝説之碑
史跡・建造物 HISTORIC SITES & BUILDINGS



日本海と佐渡を一望できる位置に建つ
人魚のロマンを伝える悲恋伝説の石碑

上 越市大潟区に伝わる人魚塚伝説は、神社の常夜灯を目当てに毎夜佐渡から通ってくる女と地元の若者の悲恋の物語。この伝説は、上越を代表する童話作家・小川未明の『赤いろそと人魚』のモデルになったといわれている。ふたりの幸せを願った石碑は人魚伝説公園に建っている。

data
新潟県上越市大潟区雁子浜
tel.025-536-6707
(上越市柿崎区総合事務所)
Pあり

JOETSU CITY Culture Tourism
ライオン像のあるやかた(きゅうなおえつぎんこう)
05 ライオン像のある館(旧直江津銀行)
史跡・建造物 HISTORIC SITES & BUILDINGS



迫力満点のライオン像が出迎えてくれる
市の文化財に指定された上越市最古の擬洋風建築

明 治期の直江津の商工業を支えた旧直江津銀行。銀行の解散後は海運業を営む高橋達太が銀行の建物を取得し、1920年に現在の場所へ移築。館内には当時の面影を残す木製の電話ボックスや金庫などが揃う。レトロで趣のある館内は入場無料なので気軽に立ち寄って。

data
新潟県上越市中央3-7-31
tel.025-544-6238
10:00~17:00(「三・八の市」
開催日は9:00~)
営業は4~11月の土日祝(12
~3月の「三・八の市」が開催
される土日祝は開館)
Pあり

JOETSU CITY Culture Tourism
たかだまちかどこうりゅうかん
(きゅうだいしぎんこうたかだてん)
06 高田まちかど交流館(旧第四銀行高田支店)
史跡・建造物 HISTORIC SITES & BUILDINGS



昭和初期に建てられた貴重な建物は
高田のまちの歴史を残す地域の交流拠点

1 931年に百三十九銀行本店として建てられた、当時では珍しい鉄筋コンクリートの建物。市の文化財に指定されており、展示室では建物の特徴や歴史を知ることができる。ホールはイベントなどに利用されるほか、貸館がない時には無料で見学・休憩ができるため、地域の憩いの場にもなっている。

data
新潟県上越市本町3-3-2
tel.025-526-6903
9:00~18:00
(ホールは~22:00)
第2水休(祝の場合は翌日)
入館無料
Pあり

JOETSU CITY Culture Tourism
いわやどうかんのんどう
03 岩屋堂観音堂
史跡・建造物 HISTORIC SITES & BUILDINGS



戦国期には上杉氏も信仰した
越後三十三ヶ所観音霊場第一番札所

8 世紀頃、泰澄大師によって創建。鎌倉時代には執権・北条時頼が訪れ、その霊験にあやかり、越後三十三ヶ所観音霊場の第一番札所とした。境内の大きな一枚岩には「弘法大師のなげ筆」といわれる梵字跡がある。境内地と御本尊は市の文化財に指定されている。

data
新潟県上越市名立区名立大町842
tel.025-537-2121
(上越市名立区総合事務所)
8:00~12:00 / 13:00~17:00(納経所受付)
Pあり

JOETSU CITY Culture Tourism
じょうこうじ
04 浄興寺
史跡・建造物 HISTORIC SITES & BUILDINGS



浄土真宗の宗祖親鸞聖人が開山した古刹
数多くの貴重な文化財を所蔵

寺 社が建ち並ぶ寺町エリアにある寺院。境内には親鸞聖人の「頂骨」を収めた本廟の彫刻や上杉謙信公が出陣の際に打ち鳴らした豆穀太鼓などの文化財が数多くある。入母屋造の本堂は、新潟県下最大規模の浄土真宗寺院建築となっており、国の重要文化財に指定されている。

data
新潟県上越市寺町2-6-45
tel.025-524-5970
9:00~16:00(本堂・御本廟)
無休
宝物殿:大人500円・学生400円
Pあり

JOETSU CITY Culture Tourism
自然・環境 NATURE
01 櫛池の大杉
くしいけのおおすぎ



八幡社の社叢林で圧倒的な存在感を放つ推定樹齢800年の巨木

上 越市清里区上中条集落の八幡社境内の北側斜面に、「櫛池の大杉」と呼ばれ親しまれている大木がある。高さ30メートル、周囲は7.3メートルあり、今なお樹勢は盛んだ。豊かに茂る葉や太い幹からは生命力を感じられる。1954年に天然記念物として県の文化財に指定されている。

data
新潟県上越市清里区上中条755
tel.025-528-3111
(上越市清里区総合事務所)
Pなし

JOETSU CITY Culture Tourism
はすのたなだ
02 蓮野の棚田
自然・環境 NATURE



山間に広がる棚田を通して
自然が織りなす田舎の原風景に出会う

1 999年、農林水産省より「日本の棚田百選」にも選ばれた蓮野の棚田。菖蒲高原手前の見晴らし台からは、大倉山を背景に田植え前に水を張る春から常緑の夏、黄金色に輝く秋、白に染まる冬など、四季折々の美しい棚田を一望できる。冬期は通行止めになるのでご注意ください。

data
新潟県上越市大島区菖蒲地区
tel.025-594-3101
(上越市大島区総合事務所)
Pあり

JOETSU CITY Culture Tourism
いたやまふどうそん
15 板山不動尊
史跡・建造物 HISTORIC SITES & BUILDINGS



静寂に包まれた洞窟に祀られた不動尊は古くから信仰を集めているパワースポット

開 口30メートルの水成洞窟の中に不動尊と百数十体の石仏が安置され、その数の多さから何度数えても数が合わないという言い伝えが残っている。右手側には不動滝が流れ落ち、神聖な雰囲気を出している。上越市指定文化財のひとつになっており現在も参拝者が後を絶たない。

data
新潟県上越市大島区板山
tel.025-594-3101
(上越市大島区総合事務所)
Pあり

JOETSU CITY Culture Tourism
ちやうすやまじょうせきこうえん
13 茶臼山城跡公園
史跡・建造物 HISTORIC SITES & BUILDINGS



手島清蔵源景行の居城として知られる小高い山に造られた山城

標 高42メートル、円錐台状の茶臼山にあった茶臼山城。春日山城の属城だったが御館の乱の際に落城し、城主の手島氏は大潟湿地から柿崎浜へ逃れたといわれている。現在は公園として整備されており、土塁や空堀、堀切などの遺構を見ることができる。物見櫓を模した展望台もおすすめ。

data
新潟県上越市頸城区矢住
1640
tel.025-530-2311
(上越市頸城区総合事務所)
Pあり

JOETSU CITY Culture Tourism
みやぐちこふんぐん
11 宮口古墳群
史跡・建造物 HISTORIC SITES & BUILDINGS



県内有数の古墳の集中地 散策も楽しめる国指定史跡

古 墳時代後期の日本海側の北限に位置する群集墳。約4.1ヘクタールの敷地に円墳が31基確認されている。周辺には遊歩道を整備した公園があるので、散策に訪れる人も多い。隣接する牧歴史民俗資料館には、宮口古墳群からの出土品の展示もあるので、併せて訪れたい。

data
新潟県上越市牧区宮口
1483-1
tel.025-533-5141
(上越市牧区総合事務所)
Pあり

JOETSU CITY Culture Tourism
あんじゅとずしおうのくようとう
09 安寿と厨子王の供養塔
史跡・建造物 HISTORIC SITES & BUILDINGS



森鷗外の小説『山椒大夫』に登場する悲劇の姉弟「安寿と厨子王」の供養塔

中 世の説経節『さんせう太夫』をもとにした森鷗外の代表作『山椒大夫』に登場する安寿姫と厨子王丸の供養塔。物語中のモデルとなった応化の橋（現在の直江津橋付近にあった橋）は今はなく、1987年の関川の改修の際、荒川橋近くから現在の地に移築された。

data
新潟県上越市中央3-12-7
tel.025-526-5111
(上越市魅力創造課)
Pなし

JOETSU CITY Culture Tourism
いわおのせきぶつぐん
16 いわおの石仏群
史跡・建造物 HISTORIC SITES & BUILDINGS



名立谷一番の難所に祀られた「巖鼻の観音様」と呼ばれる石仏群

名 立区瀬戸地内の巖橋を渡る時、下手の絶壁に石仏群がある。江戸時代に子どもや修行僧が川に流されるのを竜の仕業と恐れ、竜の災難逃れに1体の観音様を祀ったのがはじまり。その後33体の観音様が作られ、昭和後期に現在の場所へ移された。市の文化財に指定されている。

data
新潟県上越市名立区瀬戸
tel.025-537-2121
(上越市名立区総合事務所)
Pなし

JOETSU CITY Culture Tourism
よしかわとうじのさと
14 よしかわ杜氏の郷
史跡・建造物 HISTORIC SITES & BUILDINGS



豊かな自然と伝統の技から生み出される多彩なお酒は全国にファン多数

杜 氏を数多く輩出してきた吉川で、酒造りの歴史と魅力を発信する酒蔵。吉川産の良質な酒米と、尾神岳の清流、伝統の技がおいしさの秘訣で、淡麗辛口から米の甘み・うまみを強く感じる酒まで多彩に揃う。一年を通して酒蔵見学も可能。道の駅が併設され観光スポットとしても好評だ。

data
新潟県上越市吉川区
杜氏の郷1
tel.025-548-2331
10:00~18:00
月休(祝の場合は翌日)
Pあり

JOETSU CITY Culture Tourism
すがはらこふん
12 菅原古墳
史跡・建造物 HISTORIC SITES & BUILDINGS



菅原古墳群唯一の前方後円墳 県の文化財に指定された重要な史跡

古 墳時代に造られた前方後円墳で、約150基ある菅原古墳群のひとつ。全長30メートルあり、古墳の周りには堀の一部が残っている。古墳時代後期から終末期の前方後円墳としては県内唯一であり、前方後円墳の消長を知る上で重要な古墳である。675年創立の菅原神社の境内にある。

data
新潟県上越市清里区菅原
108
tel.025-545-9269
(上越市文化行政課)
Pあり

JOETSU CITY Culture Tourism
かりがねじょうあと
10 雁金城跡
史跡・建造物 HISTORIC SITES & BUILDINGS



別名「雁ヶ音城・花ヶ崎城」 狼煙台からの眺めが素晴らしい中世の山城

東 頸城丘陵最西端にある標高156メートルの山城で、直江津の越後府中から直峰城(安塚区)に至る花ヶ崎街道を監視する役割を担っていた。本丸、二の郭、空堀など、山城の形態が残されており、中央にはのろし場が築かれ、緊急時にはここから春日山城に知らせたといわれている。

data
新潟県上越市頸城区花ヶ崎
tel.025-530-2311
(上越市頸城区総合事務所)
Pあり

JOETSU CITY Culture Tourism
けいぞくだんご
23 継続だんご
食 LOCAL FOOD



林芙美子の小説『放浪記』にも登場する
地元で120年以上愛され続ける銘菓

直 江津の老舗和菓子店、元祖継続だんご本舗 三野屋の看板商品『継続だんご』。串に刺した白あんを香ばしく焼き、寒天で表面に艶を出したお菓子。口に入れると上品で優しい甘さが広がる。手作りにこだわって提供されるおいしさを求めて遠方から足を運ぶ人も多い。お土産としても好評。

data
【元祖継続だんご本舗 三野屋 本店】
新潟県上越市中央1-1-11
tel.025-543-2538
8:00~18:00
無休 Pあり

JOETSU CITY Culture Tourism
するめのてんぷら(するてん)
24 (するてん)
食 LOCAL FOOD



上越で昔から食されてきた郷土料理は
おかずやおつまみとしても大人気

一夜干しの塩スルメを使用するのが特徴で、凝縮されたイカのうまみと程よい塩味が美味。上越市の人気天ぷら専門店「天ぷら若杉」で提供する『するてん』は、厳選した塩スルメを20時間天日干しにして香ばしく揚げたもの。歯ごたえのある塩スルメの味わいが、お酒のおつまみとしても最高の一品。

data
【天ぷら 若杉】
新潟県上越市西城町2-3-33
tel.025-525-5627
11:00~14:00(LO13:30)
/17:00~21:00
日休
席20
Pあり

JOETSU CITY Culture Tourism
さん・ぼちのいち
21 三・八の市
生活文化 LIFE CULTURE



明治時代から続く朝市は
地元の「おいしい」が勢揃い

1 911年から続く、直江津地区の朝市。毎月3と8のつく日に開催され、旬の野菜が並ぶ八百屋から珍しい海産物を加工した乾物屋、地元で揚がった鮮魚を扱うお店などが軒を連ねる。朝市は朝8時半頃から11時頃まで行われ、開放感のある通りはこの時間、多くの人で賑わいをみせる。

data
毎月3・8のつく日に開催
会場:新潟県上越市中央2-3丁目
問:上越市観光振興課
tel.025-520-5741

JOETSU CITY Culture Tourism
かみえちごやまごファンクラブ
22 かみえちご山里ファン倶楽部
生活文化 LIFE CULTURE



上越市の西部中山間地域をフィールドに
多面的な地域づくり活動に取り組む

上 越市の西部、通称「桑取谷」と呼ばれる中山間地域を活動拠点に、地域住民80人が発起人となり2001年に発足。水源森林公園や環境教育施設などの公的施設の管理運営のほか、小正月行事や地域行事の支援、地域資源を活かしたイベントの実施など、活動は多岐に渡る。

data
問:かみえちご山里ファン倶楽部
tel.025-541-2602

JOETSU CITY Culture Tourism
じょうえつりつすいぞくはくぶつかん うみがたり
19 上越市立水族博物館 うみがたり
生活文化 LIFE CULTURE



生き物たちとの距離の近さが魅力
マゼランペンギンの飼育数は日本一を誇る

日 本海をテーマにした「うみがたり大水槽」や、360度アクリルガラスの海中トンネル「うみがたりチューブ」といった展示エリアがあり、日本海に生息する生き物を間近で観察できる。マゼランペンギンを圧倒的な近さで体感できる「マゼランペンギンミュージアム」は老若男女問わず大人気。

data
新潟県上越市五智2-15-15
tel.025-543-2449
10:00~17:00
(季節により変動)
無休
入館料:大人(18歳以上)1,800円、高校生1,100円、小中生900円、幼児(4歳以上)500円、シニア(65歳以上)1,500円 Pあり

JOETSU CITY Culture Tourism
うのはまにぎょかん
20 鵜の浜人魚館
生活文化 LIFE CULTURE



地元で伝わる人魚伝説から名付けられた温泉
目の前には雄大な日本海が広がる

豊 かな天然温泉を使用した本格的な温泉施設。日本海を一望できるオーシャンビューが自慢の大浴場には、サウナ付きと薬草湯付きの2種類があり、日替りで利用できる。館内にある温水プールには、25メートルプール、幼児プール、打たせ湯、気泡風呂など充実した設備が整っている。

data
新潟県上越市大浜区九戸浜241-8
tel.025-534-6211
10:00~20:00
(最終受付19:30)
火休(祝の場合は翌日)
入館料(お風呂利用):中学生以上700円、小学生350円、未就学児100円 Pあり

JOETSU CITY Culture Tourism
こんどうこうぞうぼさつかけぼとけ
17 金銅虚空蔵菩薩懸仏
芸術・芸能 PERFORMING ARTS



五十君(いきみ)神社の社殿内に奉安
県の文化財に指定された円板状の懸仏

鏡 板径15.1センチ、像高5.7センチの菩薩像を表す円板状の懸仏で、上越市三和区にある五十君神社の御神体として鎌倉時代に造られた。全面に鍍金(とぎん)が施され、鏡板には鍍金された当時の状態がよく残っている。常時公開はしていないが、事前に連絡をすれば見学可能。

data
新潟県上越市三和区所山田550 五十君神社
tel.025-532-2323
(上越市三和区総合事務所)
※見学希望の場合は事前に要相談 Pあり

JOETSU CITY Culture Tourism
せきぞうぶつとう
18 石造仏頭
芸術・芸能 PERFORMING ARTS



地元で「首切り地藏」と呼ばれる
全国的にも珍しい大きな石造りの仏頭

二 和区の小高い丘の上に建つ
一 堂百地藏宮に観音菩薩、阿弥陀如来、地藏菩薩の3体の仏頭が安置されている。地元から産出される大光寺石を用いて鎌倉時代に造られたとされている。このように頭部を別に刻む石仏は珍しく、その表現も優れていることから県指定の文化財となっている。

data
新潟県上越市三和区水吉271
tel.025-532-2323
(上越市三和区総合事務所) Pなし

開湯2000年を超える、 大自然に抱かれた高原温泉 赤倉温泉

今や国際的スキーリゾートとして知られる赤倉温泉。だがその昔は、入山禁止の霊山だった。その後、地元民や高田藩の働きで日本唯一の藩営温泉に。そして、多くの文人・名士に愛されるリゾート地となっていく。



**泉質にも注目!!
効能豊かな源泉掛け流しの湯**

赤倉温泉の湯は、妙高山で自噴する源泉から数キロ離れた温泉街へと引かれているが、各施設の湯口で48度前後。これを浴槽に流し込むと、最も気持ちいいとされる42度前後になる、加熱も水で薄めることもない自然が恵んでくれた絶妙な湯加減の温泉だ。

また、10種ある泉質のうち「硫酸塩泉」「炭酸水素塩泉」を併せ持ち、血液の流れをスムーズにしたり、肌美人の湯としての効果が期待できる。



自然・環境
NATURE

あかくらおんせんのてんぷろ たきのゆ

赤倉温泉野天風呂 滝の湯



赤倉温泉のメイン通り突き当たりにある広々とした岩石の野天風呂。1986年の赤倉温泉開湯170周年記念事業として造られたもの。

data 新潟県妙高市赤倉北7-1
tel.0255-87-2958
10:00~16:00(木は~15:30、金土は~17:00)
無休(11月上旬~4月下旬は休業)
入浴料:大人500円、小人350円
Pあり



現在の温泉街に立つ家元。これだけ道が広いのは当時の共同浴場が道の真ん中に建てられていたから



温泉ソムリエになるともらえる認定グッズ

温泉ソムリエ
家元
遠間和広さん
Kazuhiro Toma

赤倉温泉、遠間旅館の6代目にして、温泉の魅力や正しい入浴法を広める温泉ソムリエの家元として、講演活動やメディアに出演。初代にいがた観光カスマでもある

温泉ソムリエに訊く 赤倉温泉の魅力は？

**妙高原温泉郷として
情報を発信**

妙高市には、赤倉温泉のほかに、新赤倉、池の平、妙高、杉野沢、燕、関と計7つの温泉地があり「妙高原温泉郷(みよこうげんおんせんきょう)」として情報発信。いずれも妙高山麓から湧出される温泉でありながら、5つの泉質、3色の湯があることから「妙高七五三の湯」と呼び、症状や好みに応じた湯めぐりが楽しめる、まさに温泉天国として注目を集めている。

温泉ソムリエとは？

「温泉」とワインの「ソムリエ」を組み合わせた造語。ソムリエがワインの知識とテイastingやデキャンタージュのような技術を持つように、「入浴法」という技術を身につけることを目的につくった資格。温泉ソムリエ発足当時は、赤倉温泉の旅館関係者に、温泉の魅力と正しい知識、正しい入浴法をお客さまに伝えることを目的にスタート。その後、赤倉温泉だけでなく他の温泉地の従業員教育としても活動が広がり、更には温泉関係者に限らず、温泉愛好家など一般のお客さまにも温泉ソムリエの認定をするようになる。現在の認定者数は全国で2万7千人以上を誇っている。

ここにも立ち寄ろう



史跡・建造物
HISTORIC SITES & BUILDINGS

岡倉天心六角堂

国立東京藝術大学の前身、東京美術学校を創設し、世界的画家の横山大観や菱田春草など多くの美術家を育て、日本近代美術の父といわれる岡倉天心。1906年に訪れた赤倉温泉を「世界一の景勝の地」と絶賛し、その後、芸術の発信地にしようと試みる。結局想いは遂げられず、この地で永眠。六角堂は弟子たちによって建てられた。堂内には金色に輝く胸像が置かれている。

data
新潟県妙高市赤倉557
tel.0255-74-0021(妙高市観光商工課 観光交流グループ) Pあり

**その絶景が文人たちを魅了
日本有数の高級別荘地に**

その昔、妙高山は山岳信仰の霊山として崇められ、登山禁止、女人禁制が厳守されていた。江戸時代にあっても、妙高山は絶対的勢力を持つ宝蔵院が管理し、高田藩は成す術がない。しかし1800年頃、徐々に財力を失ってきた宝蔵院に対し、多額の金銭を支払うことを条件に温泉場開発の願いが出され、1816年、遂に日本唯一の藩営温泉が誕生する。半年にも及ぶ開湯工事の末、2つの共同浴場が完成する。その2年後、小さいながらも十数軒の宿が立ち並び赤倉温泉街が誕生。湯治場、北国街道の宿場町として発展していく。

明治、大正期に入ると湯治とともに徐々に避暑地、高級別荘地として多くの文人、名士たちに愛されるようになる。1899年には尾崎紅葉が訪れ、



別荘誘致のポスター。この時代にあつて、乗馬、テニス、自転車などモダンな様子がみられる

赤倉温泉の魅力を紹介。その後、日本近代美術の父ともいえる岡倉天心や与謝野晶子、有島武郎などの文人が来訪。大正になると皇族の避暑地となつて更に有名に。「妙高倶楽部」という現代のサロンともいえる別荘も建てられ、多くの名士らが集う高級避暑地としての開発が進んでいった。

赤倉観光ホテル



data

新潟県妙高市田切216
tel.0255-87-2501
宿泊料金:1泊2食付宿泊料金
29,500円～
(2名利用時の1名料金、入湯税別)
日帰りプラン6,100円～(要予約)
Pあり



赤倉観光ホテル
支配人

田上洋平さん

Yobei Tagami

新潟県妙高市出身。大学卒業後、海外および東京での生活を経て帰郷後、赤倉観光ホテルに転職。2022年より宿泊部門支配人を務める。温泉ソムリエの資格を持つ。現在、赤倉温泉の魅力在国内外に伝えるべく奮闘中

リゾートホテルならではの充実した施設群

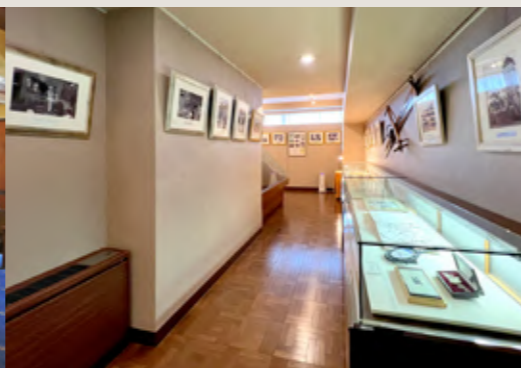
ホテル周辺は国立公園に指定されており、ウインターシーズンは4キロのダウンヒルが楽しめる赤倉観光リゾートスキー場、グリーンシーズンは高原コースならではの醍醐味が味わえる赤倉ゴルフコースや信越の山々の眺望を楽しみながら15分間空中散歩が爽快な妙高高原スカイケーブルと、大自然と一体化したレジャーが体験できるエリアとなっている。ホテル内にもアーススパやジムなどがあり、充実した滞在時間が約束されている。

5 | 6 | 7
8

5 誰もが気軽に利用できるテラスからの眺めも圧巻。大自然の中でのティータイムは格別 6 創業当時のクラシックホテルの面影を残す3階ライブラリー。華やかな正面ロビーに対して落ち着きある空間 7 本館の中にあるギャラリは、創業当時の写真やパンフレット、当時のスキー板などが展示されている資料館 8 ホテルに流れて湧き水を湛えた水盤で囲まれたSPA&SUITE棟最上階のアクアテラス。時間によって表情を変える絶景が美しい



ゆっくりと寛げる
快適な温泉空間



1 | 2 | 3 | 4

1 SPA&SUITE棟内にある露天風呂付き大浴場からの眺望は、遮るものが一切ない絶景。運が良ければ雲海を見ることも。温泉は効能豊かな赤倉温泉の源泉かけ流し。男女それぞれにドライサウナも完備する 2・3 創業当時からの正統フランス料理と格調ある雰囲気あるメインダイニング「ソルビエ」。極上食材の本格フレンチを 4 本館、SPA&SUITE棟、プレミアム棟それぞれにタイプの違う客室を用意。温泉露天風呂付きの客室が充実しているのも特徴

一度は泊まりたい憧れの高原リゾートホテル 赤倉観光ホテル

赤い屋根、白い建物は
赤倉エリアのシンボル

大倉財閥を作った新潟県新発田市出身の大倉喜八郎の息子で、後に帝国ホテルやホテルオークラを設立する大倉喜七郎が、海外の賓客をもてなす国際的なリゾートホテルを必要とする日本政府の働きかけもあり、上高地帝国ホテル(長野県)、川奈ホテル(静岡県)に続き、1937年に造った日本の高原リゾートホテルの草分け的存在。

ホテルが建つのは妙高山の中腹で標高約1000メートルの地点。遮るものが一切なく、遠くは佐渡島まで見ることが出来る素晴らしい景色に惚れ込み、この地を選んだと言われている。建物は、スイスの山岳ホテルをイメージして造られた。しかし、1965年、創業当時の建物が火災で消失。翌年直ぐに当時の姿そのままに建て直される。そして、ホテルのこだわりも随所で受け継がれている。

現在はクラシックホテルらしい気品と優雅さを感じる本館と2009年に造られたSPA&SUITE棟、2016年に造られたプレミアム棟の3つの棟で構成。源泉かけ流しの温泉や一流シェフが腕を振るう3つのレストランなど、伝統を守りながらも新しさを常に発信し続けている。温泉街から見上げると、山の中腹に赤い屋根、白い建物が浮かび上がる。一度は泊まってみたい憧れのホテルだ。



遮るものが何もない
広がり続く絶景

「特産の笹箕寿司を
後世に伝えたい」



笹の葉を山折りにしてから円すい状に丸める。簡単に作ってみせる均さんだが、実際にやってみるとなかなか難しい。

かつて上杉謙信が、武田信玄との戦いに出席した際に山中で笹の葉に飯を盛り食べたという言い伝えがある。上越では笹寿司（ささずし）という名前で食べられてきた郷土料理で、妙高地域では笹の葉を農具の箕（み）の形に折ることから箕寿司（みずし）と呼ぶ地域もある。笹の葉の上に酢飯を乗せ、具材や薬味を盛りつけたもので、主にハレの日の料理。お盆や祭りなど人が多く集まるときに振る舞われていた。作り方は地域や各家庭で少しずつ異なるが手間がかかるため、最近では家庭で作ることは少なくなっている。

妙高市で民宿を営む岡田さん夫妻は、笹箕寿司の食文化を未来に残したいと自身の宿にて笹箕寿司作りの体験会（1名2,500円）を行っている。「箕の形に笹を折るといいうのは100年も前からこの地で行われていたと聞いています。それを活かして笹箕寿司をこの地域の特産品にしたいと商工会の女性部で普及活動をしてきたんです」（孝子さん）。笹には抗菌作用があり、酢飯を使うことで保存もきく。謙信が戦の際に食べたというのもうなずける話だ。

「笹の葉はもちろんです。具材もタケノコ、ゼンマイにシイタケなど地元で採れるものばかり。ただ、それだけでは寂しいので鮭をでんぶにしたり薄焼き卵を入れたりして彩りも加えています。味付けは醤油に砂糖のみりん



「ここでもしか食べられないもの。
妙高へ来て味わってください」



笹箕寿司／民宿はるみ荘

岡田均さん、孝子さん

岡田均さん、孝子さん
Hitoshi Okada, Takako Okada

妙高市杉野沢にて民宿を営む。明治時代に建てられたという築200年のかやぶき屋根の古民家を改装した旅館は昔ながらの風情を残したノスタルジックな空間。夫婦二人三脚で郷土料理の提供も行っている。「笹箕寿司作りはふたりで手分けをして別々の作業をした方がスムーズ。それが夫婦円満の秘訣かな（笑）」。

「特別なことは何もないけれど、おいしいの理由は企業秘密かな（笑）」（均さん）。ひとつのお寿司には1種類の具材を盛るのが基本。その方が食材本来のおいしさがダイレクトに伝わってくるからだ。口にすると笹の爽やかな香りのあとに、やさしい酸味の酢飯と味の染みだ具材の見事なハーモニーが。妙高の自然の恵みをそのまま頬張るような気分になれる。「身近に採れる食材で作るからこそ、ここでもしか食べられない。妙高へ来てもらって自然の素晴らしさと一緒に味わってほしいです」（孝子さん）。



みんしゆく はるみそう
民宿 はるみ荘
data
新潟県妙高市杉野沢2421
tel.0255-86-6242
笹箕寿司作り体験:1名2,500円

日本スキー発祥の地は新潟県上越!!

レルヒの功績が実を結んだ上越のスキー産業と文化

日本スキーの発祥とは、単に「日本で初めてスキー指導を受けた」ではなく、「町ぐるみでスキー文化を築いた」ことを指す。その功績を読み解こう。



レルヒはこの人

レルヒさん
日本のスキー発祥100周年をきっかけに誕生したご当地キャラクター



- 1 入口にはにっこり笑顔のレルヒの人形がお出迎え。高身長でガッシリとした体格だったことが伺える。周りでは当時のスキー指導の様子を紹介
- 2 スキー用具の変遷が分かる展示コーナー
- 3 2階は上越のスキー産業の歴史展示のほか、レルヒが暮らしていたオーストリアの部屋を再現したコーナーも



生活文化
LIFE CULTURE

にほんスキーはっしょうきねんかん

日本スキー発祥記念館

1911年、日本で初めて本格的なスキー指導が上越市で行われた。そしてスキーは瞬間に全国へと広がっていき、スキー指導、スキー講習会、スキー大会、スキー倶楽部の発足、スキー用具の製作、スキー菓子やスキー民謡など、その魅力を支えた要因は全て上越がはじまりで、上越の町はスキーと共に発展した。日本スキー発祥とは、単にスキーが伝来したという史実だけではなく、日本スキーの「はじまり」を意味している。上越市が所蔵する歴史的資料を中心に展示し、スキーの技術や用具の変遷、一大景気に沸いた上越のスキー産業について伝えてくれる貴重な資料館だ。



data
新潟県上越市大貫2-18-37
tel.025-523-3766
9:00~16:30(11月~3月は10:00~16:00、
入館は閉館の30分前まで)
月休(祝日の場合は翌日、
祝日の翌日、12月29日~1月3日)
入館料:大人460円、小中学生160円 Pあり



まつり・イベント
FESTIVAL

レルヒさい

レルヒ祭

毎年2月の上旬、日本にはじめてスキー術を伝えたレルヒの偉大な功績を後世に伝承していくために開催される冬の大会。当時のスキーのスタイルを再現した一本杖スキーの披露をはじめ、レルヒの故郷オーストリアを感じられる「オーストリアビールブース」、地元小学生による金谷山太鼓の披露。前夜祭には幻想的なミュージックスターメインやレルヒキャンドルロード、たいまつ滑降なども行われる。メイン日の前後は大盛りグルメが楽しめる「本町ガチ盛りまつり」も開催される。

data 2024年2月3日(土)・4日(日) ※毎年2月の上旬
会場:金谷山スキー場など 問:レルヒ祭実行委員会事務局
(上越観光コンベンション協会) tel.025-543-2777



丘の上に立つレルヒ像。今でも上越の町を見守っている



photo_上越市広報対話課

photo_日本スキー発祥記念館



一本杖を巧みに使って滑走する地元の女生徒たち

レルヒが伝えた一本杖でのスキー術

1911年1月12日、日本で初めての本格的なスキー指導が行われた。雪上を歩くだけでなく、一本杖を巧みに操りながら斜面を滑降する姿は、当時の人々に大きな衝撃を与えたに違いない。

テオドール・エドラー・フォン・レルヒ。1869年、オーストリア・ハンガリー帝国生まれの軍人。陸軍士官学校、陸軍大学校を優秀な成績で卒業し、ウィーン国防省参謀本部に抜擢。参謀将校時代にスキーと出会い、アルペンスキー技術を習得、帝国軍隊へのスキー導入に尽力する。レルヒが日本にやって来たのは、日露戦争後の1910年。な

ぜ日本のような小国が巨大なロシアに戦争で勝つたのかを視察するため。翌1911年に高田の陸軍第13師団歩兵第58連隊に配属され、1年余り滞在することに。その間、軍隊の訓練や日本国内及び中国の事情を精力的に視察する。一方で、まだ軍隊に導入されていなかったスキー技術を指導する。その後、新潟県の学校教師への講習会なども開催され、スキーが移動手段としてだけでなく冬季の体育向上・健康づくりの手段として県内、そして全国へと普及していく。レルヒの伝えたスキー術は、指導を受けた弟子たちを受け継がれ、そのスキー術を顕彰するために「レルヒの会」が結成されている。現在は「レルヒ少佐が伝えた一本杖スキー技術」が、上越市の地域の宝に認定されている。

子どもと一緒に

糸魚川ジオステーションジオパルで 鉄道に親しまおう

糸魚川駅アルプス口にあるジオパルは、
鉄道好きキッズなら見逃せない施設。
鉄道模型を運転したり、実車を見たりして、鉄道に親しまおう。

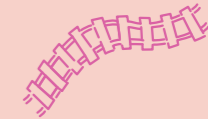
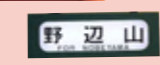


上はワイライトエクスプレスの食堂車を再現した車両、右はキハ52の内部。ユニークな写真を撮って楽しむこともできる



キハ52待合室

2010年まで大糸線で活躍していた「キハ52」の実車を使った待合室。イベントなどの際には、屋外に再建築されたレンガ車庫の3連アーチ外観からキハ52型気動車が引き出される。日本の豪華寝台特急の先駆けとして知られるワイライトエクスプレスの再現車両やミニSLくるひめ号も一般公開されている。



鉄道模型の運転に
チャレンジ!

運転手さんの
目線になれる!



1線30分あたり500円で鉄道ジオラマ運転体験が可能。模型前方にはカメラが付いていて、実際に運転しているような気分を楽しめる

ジオラマの中にも
入れちゃおう!



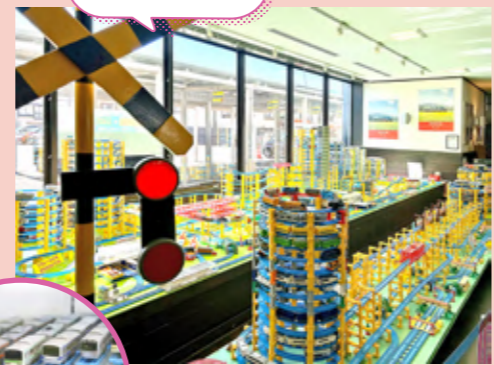
ジオラマの中から間近に鉄道を見たり記念撮影したりできる。土・日曜、祝日12時～12時30分、15時～15時30分に開放



ジオラマ 鉄道模型ステーション

えちごトキめき鉄道やJR大糸線・北陸新幹線の沿線、糸魚川駅をモデルにした大型鉄道模型ジオラマを2セット展示。鉄道模型の運転体験も楽しめる(小学4年生以下が利用する場合は保護者の同伴が必要)。

プラレールの
展示もすごい!



常設プラレールとしては日本一の規模! プレイスペースも設けられている。ショーケースに並ぶ貴重なプラレールにも注目

「キハ52」の実車を使った 待合室があるよ



実車の前で
記念撮影!

鉄道をさまざまな角度から楽しみ、体験できる施設です。貴重な鉄道資料も多数展示しています

史跡・建造物
HISTORIC SITES & BUILDINGS

いといがわジオステーション ジオパル

糸魚川ジオステーション ジオパル

糸魚川「ユネスコ」世界ジオパークの魅力発信基地であり、また、鉄道実車両、模型、プラレールに親しみ、楽しむことのできる交流施設。北陸新幹線糸魚川駅高架下に建設され、ジオパーク観光インフォメーションセンターとキハ52待合室、ジオラマ鉄道模型ステーションの3施設からなる。特に人気が高いのが、ジオラマ鉄道模型ステーションでの運転体験。糸魚川市や東京の街並みを再現した巨大ジオラマでの鉄道模型運転は、思い出に残ること間違いなし!

data
新潟県糸魚川市大町1-7-47
tel.025-555-7344(糸魚川市観光協会)
8:30～19:00(7～9月は～19:30。
トワイライトエクスプレス公開は10:00～15:00。
ジオラマ模型ステーションは10:00～18:00、
土日祝は9:00～18:30、7～9月は～19:00)
無休 入場無料(鉄道ジオラマ運転体験は
1線30分あたり500円)
Pあり



スタッフ
(左)五十嵐翔栄さん
Shohei Igarashi
(右)武藤良一さん
Ryoichi Muto



もうひとつ、こんな施設も



ジオパーク観光 インフォメーションセンター

ジオパークのさまざまなインフォメーションを提供。明星山の頂上から一気に滑り降りるスライダーや大岩壁をよじ登るようなキッズクライミングなど、子どもが楽しく遊べるコーナーもある。

上越

方言クイズ
(第1問)

Q. 糸魚川の方言「おみちよう」はどんな意味でしょう?

- ▶ A. おはよう
- ▶ B. 道中気を付けて
- ▶ C. ご飯がおいしい

答えは
P.94

神秘的な
淡いグリーン
の輝きは、
5億2000
万年前に
生まれた
のだった

VISIT THE HOMETOWN OF JADE



県の石、ヒスイの
故郷を訪ねて

ITOIGAWA





ヒスイとは どんな石？



ヒスイのほとんどの部分はヒスイ輝石(きせき)という鉱物からできている。淡い緑色のイメージがあるが白やラベンダー、青、黒などの色がある。重く、表面がなめらかで光を当てるとキラキラと輝く。2016年9月に日本鉱物科学会から「国石」に選定され、2022年11月には「新潟県の石」に指定された。

新潟県の石、ヒスイと フォッサマグナを知る



「愛されてきたヒスイも ヒスイ以外の石も大切な資源」

ヒスイ文化を楽しみながら
資源の保護と活用を

「糸魚川では宝石といえばヒスイ。ヒスイを身に付ける人や庭や家に飾っている人も多く、ヒスイがアイデンティティを表しています。人とのつながりが深い石だと思います」とフォッサマグナミュージアム学芸員の郡山鈴夏さん。糸魚川のヒスイは約5億年前に、地下深いところで温度や圧力による岩石の変化から生まれた、この糸魚川では生まれる可能性がない貴重な資源。

2009年に日本で初めてユネスコのプログラム「世界ジオパーク」に認定された糸魚川は、ジオパークの先進地とし

て地域の資源を守りながら観光への活用に取り組んでいる。河川で盗掘されるヒスイ原石を保護するヒスイレスキューの活動も郡山さんの仕事だ。「ヒスイや石、地層などは地球の長い時間の中で作り出された地質資源で、人間の手では生み出せないもの。皆さんがヒスイの歴史や文化を楽しんでいるのと同じように、ヒスイ以外のすべての石にもストーリーがあるので。ヒスイ海岸でヒスイを探したときにいろいろな石の種類があるのはフォッサマグナと関係があるのかも興味を広げれば楽しさも増える。「ヒスイをきっかけに地球や地質学っておもしろい！資源を守っていかうと思ってもらえたらうれしいです」。

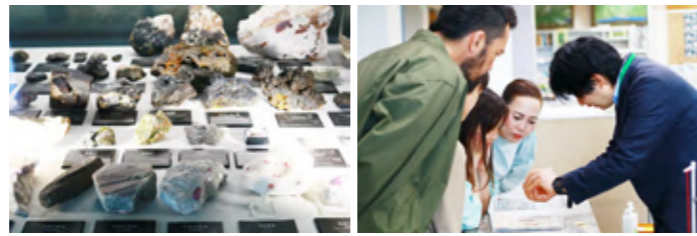
フォッサマグナミュージアム学芸員
糸魚川ジオパーク協議会事務局

郡山鈴夏さん
Suzuka Koriyama

岩手県出身。専門は石の積み重なりから環境変化を解析する「堆石学」。どんな石も好き。地学教育やSDGs学習支援なども担当する。

糸魚川ジオパークとは…

糸魚川市は市内全域が日本で初めての「ユネスコ世界ジオパーク」に認定されている。ヒスイ峡や糸魚川-静岡構造線の断層露頭など、長い年月をかけてこの地が生み出した「地質の宝物」を保護し、活用する取り組みを積極的に行っている。



糸魚川の海岸で拾った石の種類を学芸員に鑑定してもらえ。鑑定には事前に配布される鑑定券が必要。HPにて確認を

ヒスイと フォッサマグナについて学べる 拠点施設



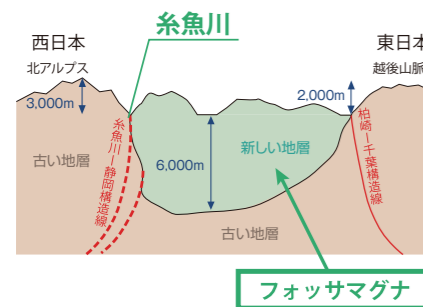
フォッサマグナミュージアム
フォッサマグナミュージアム

ヒスイやフォッサマグナを通じて日本列島の誕生から糸魚川の大地の歴史を映像や展示から学ぶことができる博物館。約5億年前に生まれたヒスイをはじめ、「糸魚川-静岡構造線」が通り、地質資源に恵まれた糸魚川を地質学から読み解くことができる。「何度訪れても毎回、楽しめる博物館を目指しています」と学芸員の郡山さん。

data
新潟県糸魚川市大字 一ノ宮1313
tel.025-553-1880
9:00~17:00(入館~16:30)
無休 入館料:大人500円、高校生以下無料(2024年4月からは大人700円、小中高生300円) Pあり



- 1 糸魚川の川や海で発見されたヒスイ原石のコレクションが楽しい第1展示室 2 第3展示室では日本列島の誕生を大画面の映像で体感できる



日本列島が作られたときにできた地質の大きな溝「フォッサマグナ」に新しい時代の地層や岩石がたまり、現在のような地形になったと考えられている(上図)。糸魚川—静岡構造線は、フォッサマグナの誕生とともにできた日本列島を東西に分ける大きな断層の西側の境界面(断層面)で、その長さは約250キロメートルにおよぶ。この糸魚川—静岡構造線を人工的に露出させて見学できる公園が、フォッサマグナパーク。地質的価値の高さから2021年に国の天然記念物に指定された。断層破砕帯をはさんで東側の約1600万年前の岩石と西側の約2億7千万年前の岩石が接する。東側の岩石はフォッサマグナにたまった新しい地層、西側は西日本の古い時代の地層。大地の境目に立ち、左右の地層の違いと大断層の迫力を体感したい。

自然・環境
NATURE

フォッサマグナパーク
フォッサマグナパーク

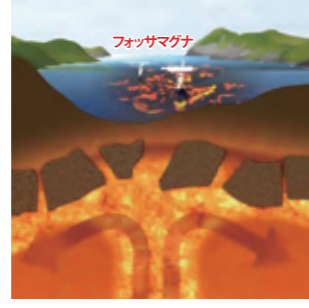
data
新潟県糸魚川市根小屋2482
tel.025-553-1880(フォッサマグナミュージアム)
4月中旬～12月初旬まで見学可(降雪量により変動あり)
Pあり

糸魚川—静岡構造線とは?

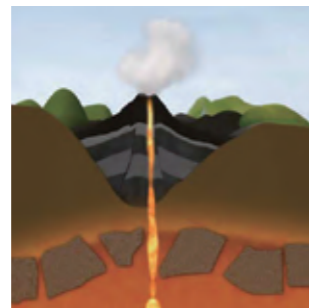
1 2,000万年前



2 1,500万年前




3 100万年前



*イメージ図

東と西、日本の境界線が糸魚川に

VISIT THE HOMETOWN OF JADE



県の石、ヒスイの故郷を訪ねて





ヒスイを見に行こう 2

ヒスイ海岸

ヒスイを探してみよう

ヒスイを見に行こう 1

小滝川ヒスイ峡

ヒスイの生まれる場所



自然・環境
NATURE

ヒスイかいかん

ヒスイ海岸

石の種類は日本随一!?
ヒスイ原石に出会えるかも

砂浜ではなく、小さな石が広がっている海岸。山で生まれた石が長い年月を経て川を下って海に流れてくる。海岸で見つけられる石は色や形、模様も多彩。国の天然記念物として保護されている小滝川ヒスイ峡ではヒスイや石の採取は禁じられているが、ヒスイ海岸の小さな石は個人で楽しむ範囲なら持ち帰りOKとのこと。石が生まれた太古の昔に思いを馳せながら、ヒスイやきれいな石を探してみよう。

data

新潟県糸魚川市押上
Pあり
問:糸魚川市観光協会
tel.025-555-7344



自然・環境
NATURE

こたきがわヒスイきょう

小滝川ヒスイ峡

ヒスイ原石と明星山の石灰岩
が生み出す壮大な景色

1938年に日本で初めてヒスイが見つかった峡谷。1956年に国の天然記念物に指定されている。駐車場から階段を下りた川沿いにある現地学習のための学習護岸を歩くと川の清流に磨かれた大きなヒスイの原石を見ることができる。ヒスイ峡遊歩道に進むと現れるのは石灰岩でできた明星山の白い絶壁。展望台まで登れば明星山の絶壁と小滝川ヒスイ峡を見下ろす絶景も楽しめる。

data

新潟県糸魚川市大字小滝
4月下旬から見学可(降雪量により変動あり)
Pあり
問:糸魚川市観光協会 tel.025-555-7344



ちょうじゃがはらこうかかん / ちょうじゃがはらいせき

長者ヶ原考古館 / 長者ヶ原遺跡

縄文時代中期の大きな集落跡
ヒスイの玉と石斧を生産

糸魚川市の中央を流れる姫川の下流右岸の河岸段丘に位置する長者ヶ原遺跡。約4,000～5,500年前の縄文時代に営まれた北陸地方最大級の集落跡だ。姫川から海岸へ流れ出たさまざまな石を加工し、ヒスイの玉や石斧作りが行われ大きく栄えていたと考えられる。長者ヶ原考古館では、出土品をはじめ、当時を再現したジオラマなどを常設。当時の人々の暮らしの痕跡に触れることができる。

data
新潟県糸魚川市一ノ宮1383
tel.025-553-1900
9:00～16:30
12～2月は月休(祝日の場合は翌日) / 長者ヶ原遺跡公園は12～3月休園
入館料:大人300円、高校生以下無料 Pあり



長者ヶ原考古館 学芸員
木島 勉さん
Tsutomu Kijima

「ここで作られたヒスイの玉が日本各地に運ばれていたのです」



てらじいせきこうえん

寺地遺跡公園

小さな遺跡公園は
ヒスイ加工が行われた地

国内で初めてヒスイの工房跡と考えられる竪穴建物跡が発見された遺跡。ヒスイ原石やヒスイを加工するための砥石などの工具も出土し、縄文人がここに住み、海岸で拾ったヒスイを加工していたことが確認された。現在は敷地内に竪穴建物と発掘された巨大柱を復元し、遺跡公園として整備。園内には縄文時代に生えていた樹木が植栽され、散歩を楽しむ。

data
新潟県糸魚川市寺地
Pなし
問:糸魚川市観光協会
tel.025-555-7344



ヒスイの加工が行われていた2つの遺跡

VISIT THE HOMETOWN OF JADE

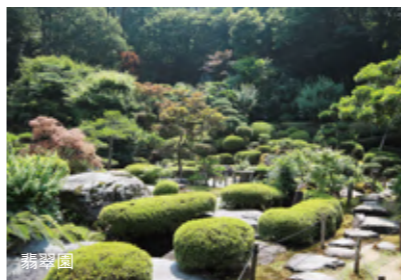


県の石、ヒスイの故郷を訪ねて

縄文時代中期からヒスイの加工がはじまり、この地がヒスイ文化の根付いていた。日本列島の中部以北を中心に北海道や九州でも糸魚川産のヒスイが出土している。長者ヶ原遺跡は1971年5月、寺地遺跡は1980年12月にそれぞれ国史跡に指定されている。



谷村美術館



翡翠園



ひすいえん、ぎょくすいえん・たにむらびじゅつかん

翡翠園、玉翠園・谷村美術館

翡翠園は17,000平方メートルの回遊式庭園。園内は松林を背景に三つの滝、池、曲水をもって構成。70トンのヒスイ原石をはじめ、たくさんの巨石が配置された景観が心を和ませてくれる。ここから徒歩10分の谷村美術館は仏像彫刻の第一人者・澤田政廣の仏像に合作して設計された建築界の巨匠・村野藤吾による空間が魅力的。石窟のような内部で仏像を引き立てる自然光と照明の演出にも注目を。また、隣接する玉翠園では美しい日本庭園を眺めながら、糸魚川に古くから伝わる健康茶『バタバタ茶』を味わうことができる。

手作りのヒスイ勾玉やストラップをおみやげに



ヒスイおうこくかん

ヒスイ王国館

館内は糸魚川の物産スペースとヒスイスペースに分かれ、ヒスイの原石や加工品のほか、糸魚川のさまざまな石アイテムが並ぶ。「ひすい工房」では、職人さんがヒスイを加工する様子をガラス越しに見学できる。工房で作っているオリジナルのヒスイ勾玉やヒスイストラップは価格も手頃でおみやげにぴったり。糸魚川の海でつけたヒスイの加工にも応じてくれる。



data
新潟県糸魚川市大町1-7-11
tel.025-553-1210
9:00～19:00
無休
入館料:無料 Pあり

ヒスイを見に行こう3

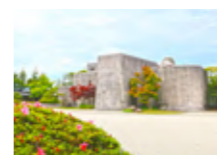
翡翠園、玉翠園・谷村美術館

ヒスイの原石を配した日本庭園



石を強調した日本庭園
美術館へも足をのばして

玉翠園



data

【翡翠園】
新潟県糸魚川市蓮台寺2-11-1
tel.025-552-9277(玉翠園・谷村美術館)
9:00～16:00(入館は～15:30)
火休(祝日の場合は翌平日。12月～3月は休園)
入園料:大人600円、高校生以下無料(玉翠園・谷村美術館共通券1,000円) Pあり

【玉翠園・谷村美術館】
新潟県糸魚川市京ヶ峰2-1-13
tel.025-552-9277
9:00～16:30(入館は～16:00)
火休(祝日の場合は翌平日)
入園料:大人800円、高校生以下無料(翡翠園共通券1,000円) Pあり

屋内展示では世界最大102トンのヒスイ原石



ひすいふるさとかん

翡翠ふるさと館

青海川ヒスイ峡で発見され、2000年に移設・保管した貴重なヒスイの原石を展示するために建てられた施設。ヒスイの原石の大きさは幅約6メートル×高さ約4メートル×奥行約3.2メートルで重さ102トンと屋内展示物としては世界最大。大きさに圧倒されるとともに、場所による色の違いも興味深い。目の前にある親不知海岸で発見されたヒスイも展示している。



data
新潟県糸魚川市外波903-1
親不知ヒアパーク内
tel.025-561-7290 10:00～15:00(3月は～16:00。4月からは9:00～17:00) 火休
入館料:無料 Pあり

ヒスイを見に行こう4
翡翠ふるさと館「巨大なヒスイ原石を見る」

史跡・建造物
HISTORIC SITES & BUILDINGS

あまつじんじゃ・ぬながわじんじゃ

天津神社・奴奈川神社

第12代景行天皇の御代に創建されたとされる実に古い神社で、広い境内では数多くの指定文化財を目にすることができる。春の大祭(けんか祭り)で奉納される舞楽も国の重要無形民俗文化財に指定されている。天津神社本殿と並んで左側にある奴奈川神社本殿は大国主命(おおくにぬしのみこと)と奴奈川姫を合祀。神社には平安時代の藤原期の作風が見られる温和で端正な表情の木造の奴奈川姫像が所蔵されている。

data 新潟県糸魚川市一の宮1-3-34
tel.025-552-0036
Pあり



天津神社



奴奈川神社

糸魚川を代表する古社で
本殿のそばに建つ奴奈川神社

奴奈川姫ゆかりの神社で 心願成就

強く、賢く、美しく——これは糸魚川の地で古代の姫として言い伝えられ、
崇められてきた奴奈川姫(ぬなかわひめ)の人柄。
奴奈川姫を祀る3つの神社すべてを参拝することで良縁に恵まれるとのいわれがある。

奴奈川姫とは?

太古の昔にヒスイを使って祭祀を行い、高志国(このくに・現在の福井県から新潟県)を治めた姫といわれている。「古事記」では出雲の大国主命(おおくにぬしのみこと)と結ばれたとある。糸魚川には奴奈川姫の伝承地が多く、現在も市民に愛されている特別な存在。

日本海を望む国道
8号線沿いの糸魚川
ヒスイロードに建
つ奴奈川姫像



史跡・建造物
HISTORIC SITES & BUILDINGS

たぶせのぬながわじんじゃ

田伏の奴奈川神社

奴奈川姫を主祭神と祀る神社の西側には、かつて田伏遺跡があった(現在は住宅地となっている)。遺跡からは土器破片や勾玉、ヒスイの原石など、貴重な遺物が出土し、この地域のヒスイ製玉作りの文化を物語る。拝殿には明治15年頃の北前船を描いた船額やヒスイの勾玉も置かれている。

data 新潟県糸魚川市田伏569 tel.025-555-2228 Pあり



玉作りの文化を伝える
奴奈川姫ゆかりの神社

能生白山神社

歴史ある神社の伝統文化を
次世代へと引き継いでいく



建造物、仏像、船絵馬に
舞楽や自然までもが文化財に

能生白山神社拝殿

能生白山神社の創始は奴奈川姫を祀って産土(うぶすな)神社としたのが始まりだといわれている。明治維新とともに神仏分離の新政となり、祭神も奴奈川姫命・大日貴命(おのおなむちのみこと)・伊佐奈岐命(いざなぎのみこと)と改まった。「能生ではヒスイが採れないのでヒスイと関わり深い奴奈川姫の言い伝えがあまり残っていません」と能生白山神社総代の中村利勝さん。宮司が常駐していない能生白山神社では、神社に仕える氏子の中から選出された総代6名が祭祀や保持活動を行っている。特筆すべきは神社の文化遺産。国指定重要文化財の本殿をはじめ、2013年に整備された宝物殿にも国や県の指

定文化財が多くあり、鎮守の森である尾山に生息するヒメハルゼミも国指定天然記念物。毎年4月24日に行われる春季大祭では国指定重要無形民俗文化財の舞楽が奉納される。総代の五十嵐保さんは室町時代の伝統を受け継ぐ舞楽を担当する「楽人会(がくにんかい)」のメンバー。子どもの頃に稚児舞を経験し、25歳から楽人会に参加して舞台で舞った。「稚児に選ばれて誇らしかったです。私たちは歴史ある神社の伝統文化を次の世代につないでいく役目があります」。また、御筒粥(おつがゆ)祭、祇園祭、燈籠祭、厳島神社式年祭(弁天様の御開帳)など、独自の伝統神事の伝承を保ち続けている能生白山神社。長い歴史とともに地域住民から篤く信仰されてきた存在であることがうかがえる。



能生白山神社総代
(左) 中村利勝さん (右) 五十嵐 保さん
Toshikatsu Nakamura Tamotsu Igarashi

中村さんは総代9年目の筆頭総代。能生白山神社の観光ガイド役も務める。五十嵐さんは総代6年目。舞楽を行う楽人会(がくにんかい)に所属し、稚児舞と大人舞の指導を行っている。

史跡・建造物
HISTORIC SITES & BUILDINGS

のうはくさんじんじゃ

能生白山神社

data 新潟県糸魚川市大字能生7239 tel.025-566-3465
宝物殿見学を希望の場合は電話にて要予約 Pあり



宝物殿では貴重な文化財を見学できる(要事前予約)

能生白山神社 宝物殿に展示される 貴重な文化財



ぶつぞう
仏像

左の木造聖観音立像は国指定重要文化財。平安後期の作品で姿勢や服装、表情から藤原時代の特徴を表し、柔和な気品にあふれている。両足首以下は後世、補修され、台座も新造。中央の銅造十一面観音像は平安時代後期の様式を示す。右は木造 泰澄(たいちょう)大師座像。白山の開創者と伝えられる。



本殿も国指定重要文化財



はがせぶねのふなえま
はがせ船の船絵馬

神社には古くから航海の安全を願った船絵馬が奉納されていた。写真は、江戸時代から日本海側を往復していた北前船よりも前の時代に活躍した「はがせ船」を描いた日本で唯一といわれる大型の船絵馬。このはがせ船絵馬を含め、船絵馬93点、船額4点が国の重要有形民俗文化財に指定されている。



ぶがくめん
舞楽面

春季大祭で披露される舞楽11曲のうち、面を使用するのは四舞楽。そのうち県指定文化財の能抜頭(のうばとう)一面、納曾利(なそり)二面、陵王(りょうおう)二面を展示。写真は陵王二面。平成初期までは大祭で使用されていた(現在は複製を使用)。総代の五十嵐さんはこれらの面をつけ、三舞楽を舞った。

春季大祭を見に行こう!

まつり・イベント
FESTIVAL

のうはくさんじんじゃしゆんきたいさい

能生白山神社春季大祭 毎年4月24日

能生の舞楽は糸魚川の天津神社と同じ室町時代の永享年間(1429~1441年)に大阪四天王寺より習い伝えたとされている。大祭当日、午前中は獅子舞、午後は境内の池に特設された水舞台で11曲の舞楽が奉納される。華やかで美しい稚児舞、真っ赤な衣装が夕日に映える、舞楽の最後を締めくくるにふさわしい「陵王の舞」など、500年以上続く古式ゆかしい舞楽に魅了される。

data
毎年4/24
会場:能生白山神社
問:糸魚川市役所文化振興課
tel.025-552-1511





「今の加賀の井を味わってください。そして、地域の誇りを目指します」

食 LOCAL FOOD

かがのいしゅどう

加賀の井酒造

蔵は全焼したが、2018年には同じ場所で新たな蔵を再建し酒造りを再開。新しい蔵の左脇には消失を免れた古い蔵が今も残る。再開から5年が経った今、活を取り戻し新商品をリリースするなど見事に復活を遂げた。「大火から再び酒造りを始めた時に「糸魚川の子どもたちにとって、生まれ育ったまちに酒蔵があるのはよいこと」と言われたことが、自分のなかで大きく残っています。地域の誇りとなるよう頑張りたいです」。ヒスイ峡付近からの中硬水で仕込む、うまみのある酒をぜひ。

data 新潟県糸魚川市大町2-3-5
tel.025-552-0047
酒蔵見学は要予約
Pあり

第十八代蔵元
小林大祐さん
Daisuke Kobayashi

大火から再起したお店を訪ねよう



店主
谷村 潔さん
Kiyoshi Tanimura

「糸魚川の地魚のおいしさを
感じてもらえたらうれしいです」

食 LOCAL FOOD

えどまえしげずし

江戸前 重寿し

地ものを中心に、豊洲市場から取り寄せるマグロなど吟味した素材を用いた江戸前ずしを提供。3代目の谷村さんは先代から経営を受け継いだ矢先に、大火により店舗兼自宅が焼失。しかしそれから1カ月という早さで仮店舗での営業を再開した。「お客さん、従業員のために早くしなければと焦っていました」。旧店舗跡地で2018年にオープンした新店舗はヒノキの一枚板のカウンターがある温かみのある空間。ここで地魚の白身を中心に10貫を盛り合わせた「地ものにぎり」を堪能したい。

data 新潟県糸魚川市大町1-3-12
tel.025-552-0098
11:30~L014:00 / 17:00~22:00 (L021:30)
火、隔週水休
席25 Pあり



未来のため大火を学び、再起を応援

新潟県民には記憶に新しい2016年12月の糸魚川市駅北大火。7年経った今、まちは復興を遂げて新たな日々を刻んでいる。大火を学び新しいまちを歩いて、防災について考えたい。



県内外の各消防本部から300人以上に及ぶ消防隊が応援に駆け付けて消火活動が行われた

糸魚川市駅北大火は、2016年12月22日の午前10時20分頃に糸魚川市大町の飲食店から出火し、翌23日16時30分の鎮火まで約30時間続いた大規模火災。フェーン現象で乾燥した強い南風にあおられ、火元から約300メートルも離れた日本海沿岸まで燃え広がった。焼失範囲は約4万平方メートルに及んだ。糸魚川―静岡構造線の大断層に沿って大きな谷地形ができ、谷川が流れる糸魚川。大火当日は日本海に発達した低気圧があり「蓮華おろし」と呼ばれる強風が姫川沿いの谷地形を通り日本海方向へ吹き下ろした。皮肉にもこの地形が大火の原因になってしまった。それから7年。まちは大きな被害を受けながらも再起し、新たな日常を取り戻している。「カタイ絆でよみがえる笑顔の街道糸魚川」を掲げ、二度と大火を繰り返さないまちづくりを目指している。

2016年12月22日に起きた
糸魚川市駅北大火からの復興

史跡・建造物
HISTORIC SITES & BUILDINGS

いといがわしえきたひろばキターレ

糸魚川市 駅北広場キターレ

大火からの復興を伝承し、市民が憩える場所として2020年にオープン。エントランスでは大火で使われた消防資機材や焼け出された生活用品の展示のほか、解説パネルや映像などで大火が起きた当時の様子を今に伝える。いつでも無料で見学できるほか、カフェもあるので散策の際に立ち寄ろう。

data 新潟県糸魚川市大町2-2-19
tel.025-556-8200 9:00~22:00
無休 入館料:無料 Pあり

糸魚川市駅北大火の記録を伝える施設



スタッフ
渡邊 幸さん
Miyuki Watanabe

PLACE RELATED TO KENSHIN UESUGI



上杉謙信公
ゆかりの地へ
JOETSU



越後の武将、

上杉謙信公に

思いを馳せて

上杉謙信ハムが 見ていた景色

日本百名城に数えられた
春日山城の功績を残す

標高180メートルの春日山。小高い山の眼下には高田、直江津といった現在の上越市の街並み、遠くは米山や日本海を望む。ここにはその昔、戦国時代の名将・上杉謙信の居城「春日山城」が存在した。謙信公もかつてこの風景を眺め、戦乱の世に何を思っていたのだろうか。そう思いながら感慨にふけるには、この地はうってつけだ。

春日山城の歴史は古く、南北朝時代に越後国守護だった上杉氏が要害にしたのが始まりといわれる。その後、謙信公の父である長尾為景、長尾景虎（後の謙信公）、養子の景勝の三代にわたって居城とし、上杉氏の会津移封後は堀氏が入城した。複雑な山の地形を利用して、春日山全体を城塞化した堅固な造りで、難攻不落の天下の名城として名高い。今も空堀や土塁、大井戸など山城の遺構が多く残り、屋敷や空堀が配された山の麓には延長1・2キ

ロに及ぶ堀と土塁で屋敷や空堀を囲む総構が築かれているのも特徴だ。

上杉謙信公は春日山城で生まれ、19歳で兄の晴景に代わって守護代長尾家を受け継ぐ。以来、49歳で亡くなるまでの30年間、春日山城を本拠地として、武田信玄との戦いで有名な川中島の合戦をはじめ関東や信濃、北陸へ出陣し、また、二度の上洛を果たした。戦乱に巻き込まれる日々を送る中でも謙信は神仏を篤く崇敬し、何よりも義を重んじた。川中島の合戦の最中に、敵対していた武田信玄が今川氏真に塩を断たれた際、武田に塩を送ったのは有名なエピソードである。また「運は天にあり、鎧は胸にあり、手柄は足にあり」とは謙信が春日山城の壁に書いて残したと言い伝えられる言葉。運は天が決めることであり、自分の力ではどうすることもできないが、鎧を着ることで自分の身を守り、手柄も自分の足で勝ち取ることができるといふ意味だ。私利私欲のためには戦わず、義侠心の強い人といわれた謙信の心持ちがうかがえる。

現在、春日山城跡はかつて本丸があったとされる山頂付近まで登ることが可能だ。春日山城で産声を上げ、自身の最期もそこで迎えた謙信公にとってここは特別な場所だったに違いない。山の自然にふれ、眼下に広がる上越の街を見ながら、謙信公の偉業と歴史の移り変わりに思いを馳せたい。



photo_上越市教育委員会

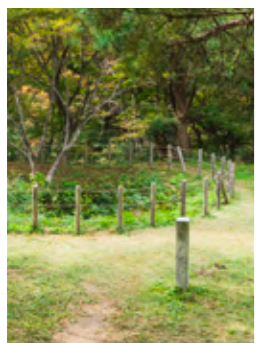
標高約180メートルの山頂付近は本丸の跡地。城跡は国指定の史跡となっており、山頂から麓にかけて当時の遺構が数多く残る。春日山城には石垣がなく、自然の地形と土木工事により、空堀や土塁、郭が作られた。

史跡 春日山城跡



上杉謙信公が出陣前に戦勝祈願したと伝わる毘沙門堂。現在の毘沙門堂は昭和に入って建設されたもので、毘沙門天の尊像が安置されている。

毘沙門堂



廃城400年を経て今なお水をたたえる大井戸。古絵図にはここが必ず描かれ、春日山城が山城として最適の地に造られたことを教えてくれる。

井戸曲輪



史跡・建造物
HISTORIC SITES & BUILDINGS

かすがやまじょうあと 春日山城跡

data 新潟県上越市大字中屋敷付近
※史跡に関すること tel.025-545-9269(上越市文化行政課)
観光に関すること tel.025-520-5740(上越市魅力創造課)

PLACE
RELATED TO
KENSHIN UESUGI



上杉謙信公
ゆかりの地へ

上杉謙信公ゆかりの地を巡る ①
春日神社

戦国時代に
謙信公も参拝した神社

PLACE RELATED TO
KENSHIN UESUGI



上杉謙信公
ゆかりの地へ



木の香りが漂う拝殿。例大祭をはじめ、初宮参りや七五三といった御祈禱も行われ、長年地域住民に親しまれている神社



千年以上の歴史を持つ
春日山の総鎮守

宮司
風間常樹彦さん
Tokihiko Kazama



春日山城の名称の原点であり、上越市内の春日とつく地名の発祥といわれる神社。90段もの石段が続き、立派な杉の社叢が出迎える参道は荘厳な雰囲気漂い、歩いているだけで清々しい気持ちになれる。

創建は天徳2年(958年)。奈良の春日大社の分霊を祀り、春日大社の記録にある全国の春日神社の中で最初に出てくる神社で、地域の産土神として大切にされてきた。ご祭神は天児屋

根神、武甕槌命、経津主神、女神比売神の四体。「もとは春日山山頂に創建され、山頂には約500年鎮座。今から600年ほど前、春日山城築城の際に、城の鬼門を守る現在の場所に遷座したと伝えられています」とは宮司の風間常樹彦さん。春日山城の総鎮守として上杉謙信公からも篤く信仰され、戦へ出陣する際は必ず必勝祈願に訪れたとの逸話も残る。ヒノキ造りの社殿は2019年に新築されたもの。境内脇には駐車場も整備され、参拝にも訪れやすい。謙信も味わった豊かな空気をぜひともこちらで体感したい。



社殿は通常無人だが、奉納金を納める形で御朱印や各種御守り、神札の授与も行う

史跡・建造物
HISTORIC SITES & BUILDINGS

かすがじんじゃ
春日神社

data
新潟県上越市春日18
tel.025-525-2010 Pあり

上杉謙信公の素養を培った
上杉家の菩提寺

謙信公の祖父である長尾能景が、父・重景の菩提を弔うため明応6年(1497年)に建立。名将・上杉謙信の素養が培われた場所と名高い曹洞宗の寺院だ。ここで謙信公は7~14歳までを過ごし、名僧と呼ばれた天室光育の

と、厳しい禅修行と文武の道に励んだといわれる。教養が高く、信仰心が篤い戦国武将としてその名を轟かせた謙信公の原点をつくった地といっても過言ではない。上杉家に代わって春日山城主となった堀秀治によって再興され、後に堀家、松平家、榊原家といった歴代の高田藩主も厚く保護した。鎌倉時代の和様と唐様を取り入れた

大正時代の名作といわれる山門は、「第一義」の扁額が掲げられ、これは謙信公の自筆を複製したもの。本堂右手にある宝物館では、この自筆の書のほか、謙信が信仰した毘沙門天の像、「毘」龍」と書かれた御旗、甲冑や兜、上杉謙信の肖像画なども展示されており、上杉謙信公ゆかりの貴重な所蔵品を拝見できるので必見。



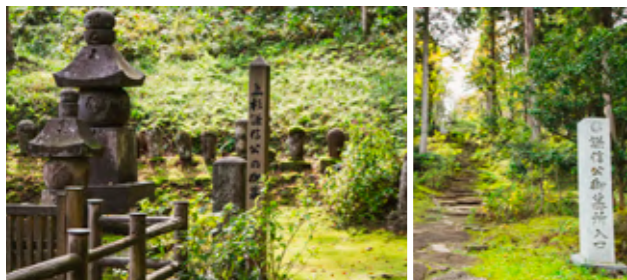
義を重んじた謙信公の思想をよく表している「第一義」の扁額



本堂の脇に、上杉家の資料やゆかりの品が展示された宝物館もある

上杉謙信公ゆかりの地を巡る ②

林泉寺



本堂左手から山道に登る墓所には、上杉謙信公の墓や川中島合戦の戦死者の供養塔などがあり、現在も参拝者が絶えない

史跡・建造物
HISTORIC SITES & BUILDINGS

りんせんじ
林泉寺

data 新潟県上越市中門前1-1-1 tel.025-524-5846
10:00~16:00(拝観受付は~15:30) 水休
拝観料:大人500円、小中学生250円 Pあり

豊かな素養は

ここで培われた



「春日山」と書かれた扁額が掲げられた立派な山門(写真上)が出迎える。二重の山門は珍しく、格式が高いとされる。山門の天井には龍の絵が描かれているので、くぐる際に見上げてみてほしい。写真下は本堂。手入れの行き届いた庭園も美しい

テーマを「越後の都」とし、安土桃山時代以降の上越の歴史を解説。上越の歴史を語る上で欠かせない春日山城、福島城、高田城の三城の変遷やそれにまつわる時代背景、現在に至る地域の発展の様子も紹介し、上越の街の移り変わりを詳しく学べる。高田城の内堀や本丸土塁を臨む1階ラウンジ、三重櫓や妙高山、米山を一望する屋上展望デッキは無料で利用可能。四季折々の風景を見せる高田城址公園の散策や高田の街歩きの出発点としても利用したい。

 史跡・建造物
HISTORIC SITES & BUILDINGS

じょうえつりつれきしほくつかん

上越市立歴史博物館

data
新潟県上越市本城町7-7 tel.025-524-3120
9:00~17:00(12月~3月は10:00~16:00)
月休(祝日の場合は翌日)、祝翌日休
料金:一般510円、小中高生260円
(1階ラウンジと屋上展望デッキは無料で利用可) Pあり

上越市立歴史博物館

上杉謙信公ゆかりの地を巡る

1
2
3
4

1 プロジェクションマッピングによる展示も行う 2 上杉謙信公と上越の関わりも紹介 3 二次元コードで現在の街のスポットを探せる展示もある 4 高田城址公園内に立地



上越の三城の歴史と変遷を学ぶ



中世の春日山城を五感で体感

1 上杉軍の軍旗「毘」は戦の神「毘沙門天」の頭文字 2 5月頃は監物堀に植えられたカキツバタが彩る 3 広場は散策も可能

1
2
3

これまでの調査によって確認できた土塁や堀、堀立柱建物などが復元され、春日山城の様子を彷彿とさせる広大な史跡広場。毎年8月に開催される「謙信公祭」では、上杉謙信と武田信玄の戦い「川中島合戦」の再現が広場で行われる。広場に隣接する「春日山城跡ものがたり館」では謙信公や当時の春日山城の様子などを映像で紹介する他、川中島合戦図屏風、春日山城付近で発掘された出土品の展示を交えて紹介している。

 史跡・建造物
HISTORIC SITES & BUILDINGS

かすがやまじょうしせきひろば かすがやまじょうあものがたりかん

春日山城史跡広場・春日山城跡ものがたり館

data
【春日山城跡ものがたり館】
新潟県上越市大字大334 tel.025-544-3728
9:00~16:30
月休(祝日の場合は翌日)、12月~2月休館
観覧無料 Pあり

春日山城史跡広場・春日山城跡ものがたり館

上杉謙信公ゆかりの地を巡る

天平13年(741年)に聖武天皇が日本の平和と繁栄を祈願して、その国ごとに国分寺と国分尼寺が建立された際、越後国に建てられた国分寺の後継寺院がこちら。本尊が五智如来であることから五智国分寺ともいわれ、永禄5年(1562年)に上杉謙信公が現在の位置に再興し、その後は上杉景勝からも崇敬を受けるなど上杉家と所縁のある寺院だ。境内には親鸞聖人の越後の住まいであった竹之内草庵があり、等身大の自刻像が安置されている。荘厳な造りの三重塔や本堂も必見。

 史跡・建造物
HISTORIC SITES & BUILDINGS

ごちこくぶんじ

五智国分寺

data
新潟県上越市五智3-20-21
tel.025-543-3069 Pあり

五智国分寺

上杉謙信公ゆかりの地を巡る



奈良時代建立の越後国の国分寺



1 1997年に再建された本堂は外見に青森ヒバ材を使用。内部は檜かんなどで仕上げた重厚な造りが特徴 2 高田の名工・石倉正義銘の彫刻が刻まれた三重塔

1
2



越後一の宮の宮司に謙信公の話聞く

上杉謙信公ゆかりの地を巡る

居多神社

3

PLACE RELATED TO KENSHIN UESUGI




上杉謙信公ゆかりの地へ

上杉家に篤く崇敬された越後一宮

大國主命、奴奈川姫、建御名方命、事代主命の親子四柱の御祭神を祀り、上越の越後一宮といわれる歴史ある神社。縁結びや子授かりのご縁があるとされ、上越のパワースポットとして親しまれてきた。創建は不詳だが、慶応2年(1866年)まで身輪山に鎮座していたとされ、社地が海岸侵食で崩壊したため明治12年(1879年)に現在地に遷座したと伝えられている。上越に国府が置かれ、国司が居多神社を崇拝したことから、越後一宮と呼ばれるようになった説もある。宮司を務める花ヶ前家は朝廷・幕府などと折衝を行う上杉謙信公の使者の一人だったといわれる。「室町時代に入ると、守護上杉家からの崇敬を受け、領地を寄進したことから上杉家と居多神社の関係が始まりました。代々居多神社の神主でもある花ヶ前家は、上杉家の外交官的な役割も担うようになったといえます」と宮司の花ヶ前盛明さん。一方では親鸞聖人との所縁もあり、越後七不思議にも登場する「片葉葎」に今もお目にかかる。



宮司 花ヶ前盛明 さん
Moriaki Hanagasaki

 史跡・建造物
HISTORIC SITES & BUILDINGS

居多神社

data 新潟県上越市五智6-1-11 tel.025-543-4354 Pあり

謙信ハムを、リアルに体感



宇佐美定満
Sadamitsu Usami

上杉景勝
Kagekatsu Uesugi

上杉謙信
Kenshin Uesugi

まつえ
Matsue

毎年8月下旬に開催
大迫力の戦国絵巻！

謙信公祭



第98回「謙信公祭」
上杉謙信公役
※市民公募により決定

横田 聖さん(上越市在住)
Satoru Yokota

【「謙信公祭」を終えて】
「今回、謙信公役を務めさせて頂き、改めて多くの方の熱意を感じました。この大役を果たせたのも多くの参加者や観に来て下さった方々、そしてスタッフの皆様のおかげです。最後の会場一体となって行った勝ち鬨はまさに義の心を体現したものと感じました。ありがとうございました。」

PLACE RELATED TO KENSHIN UESUGI



上杉謙信公ゆかりの地へ

越後上越 上杉おもてなし武将隊

歴史に名を残した上杉軍団が義の心をもつておもてなし

「我ら、越後上越 上杉おもてなし武将隊！ いざ、出陣じゃ！」と戦国武将らしい迫力ある口上を見せるのは、「越後上越 上杉おもてなし武将隊」の面々。2011年4月の結成以来、上越市埋蔵文化財センターを拠点とし、観光客に向けたおもてなしや演武などのパフォーマンス、上越市の観光PR活動を定期的に行っている。メンバーは、越後の龍と恐れられた上杉謙信公、謙信公の甥で豊臣五大老の一人にあたる上杉景勝、謙信に兵法

を受けた名軍師と謳われる宇佐美定満、謙信公の幼少期の養育係だった女武者まつえの4人。最近ではテレビやラジオにも精力的に出演しているが、通常は、本陣である上越市埋蔵文化財センターの馬上謙信公銅像前でミニ演武を行い、4月から11月までの月に1回は春日山神社境内にて演武を披露している。上越市内の小学校などにも出陣し、地域の子どもにも愛される彼ら。迫力がありつつ、親しみやすさもある武将隊だが「握手はできぬが、記念撮影はいつでも可能であるぞ！」と謙信公。演武や出陣のスケジュールは公式サイトやSNSで確認を。

ここで武将隊に会える!

※他所への出陣時など不在の場合あり



史跡・建造物
HISTORIC SITES & BUILDINGS

上越市埋蔵文化財センター

上杉謙信公や春日山城跡に関する資料や、戦国時代の歴史の紹介、上越市内の遺跡から見つかった土器などの出土品を展示。春日山城のジオラマは、山城の造りや城周辺の様子を知ることができる。上杉謙信公や上杉景勝が着用したとされる甲冑のレプリカ、謙信公の生涯年表などを展示する。兜や陣羽織を着て写真撮影できるコーナーも常設。訪れた際に武将隊がいれば直接案内してくれるかも。

data
新潟県上越市春日山町1-2-8
tel.025-521-6280
9:00~17:00
(入館は~16:30)
火休(祝日の場合は翌日)
観覧無料 Pあり

芸術・芸能
PERFORMING ARTS

越後上越 上杉おもてなし武将隊

data <http://www.uesugi-busyotai.com/>
問:上越観光コンベンション協会 tel.025-543-2777

感じてみよう!



毎年多くの観客を魅了 大迫力の戦国絵巻

群雄割拠の戦国時代、戦で敗れたことがほとんどなく、戦国最強と謳われる越後の武将、上杉謙信。一方で、神仏を篤く敬い、大義名分のない私利私欲の戦いは行わなかったとされ、「義の武将」とも呼ばれる。その義の心やストイックな志は地域にずっと継承されてきた。謙信公が生まれ、生涯の大半を過ごしたここ上越エリアでは多くの人が「謙信公」と自然に呼ぶのは、上杉謙信の存在と精神がこの地にしっかりと息づいている証明でもあろう。

そんな謙信公の武勇と遺徳を称える祭りとして行われるのが「謙信公祭」。1926年に地元の青年団が中心となって1回目が実施されて以来、戦中戦後も途絶えることなく毎年行われ、2023年8月開催分は第98回を数えたという、上越市が誇る一大イベントだ。鎧兜に身をつつみ、槍刀を持った勇壮な武者たちが練り歩く「出陣行列」や、夕闇の迫る頃、かがり火のなかで上杉・武田両軍が勇壮に駆け回る「川中島合戦の再現」は、大迫力の戦国絵巻だ。県内外、毎年多くの観客を魅了するこのお祭りは、まさに間近で見る価値あり。機会があればぜひ堪能してみて。



まつり・イベント
FESTIVAL

謙信公祭

data 毎年8月下旬(予定)
会場:新潟県上越市内各所
〔川中島合戦の再現〕は春日山城史跡広場に開催
観覧一部有料
問:謙信公祭協賛会(事務局:上越市観光振興課内)
tel.025-520-5741

約50年前、1975年の「第50回謙信公祭」。当時も本格的な出陣行列だったことが伺える



上越が生んだ文化人の記念館へ

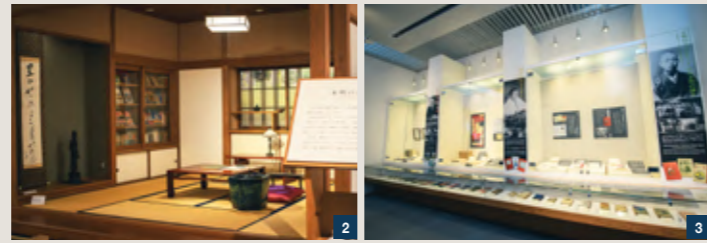
日本の近代化に大きく貢献した前島 密。小説家・童話作家として活躍した小川未明。2人の功績と生涯を学ぼう。



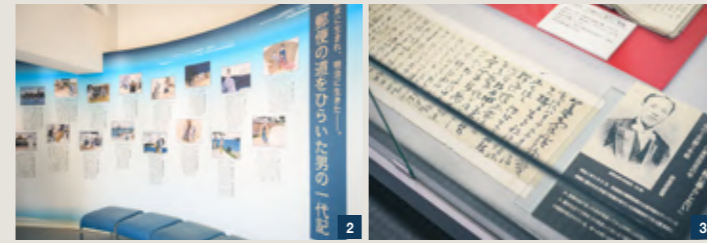
日本近代童話の父
小川未明
Minami Ogawa
(1882年～1961年)

どんな人物だった?

1882年、上越市高田で旧高田藩士の家に生まれた小川未明(本名は小川健作)。現在の高田高校から早稲田大学へ進学し、大学在学中に恩師・坪内逍遙(しょうよう)との出会いをきっかけに小説家デビューを果たす。“未明”という筆名を名付けたのは坪内逍遙である。明治から昭和にかけて、代表作の『赤い蠟燭と人魚』や『野薔薇』をはじめとした1,000点以上の小説や童話を世に送り出した。



1 アニメや影絵遊びを通して童話の世界を体感できる広場 2 未明の書斎を再現。机、火鉢、脇息などは実際に使用されていたもの 3 明治、大正、昭和の3つの時代に分けて解説。社会背景や思想の変化が作品に反映されている



1 現代の生活に通じる前島の業績を史料とともに読み解いていく。「日本で最初の近代人」と言われた理由が分かるはず 2 幕末に生まれ、明治に生きた彼の生涯は実に波乱万丈 3 母へ宛てた直筆の手紙など当時のままの貴重な史料を数多く展示



日本近代郵便の父
前島密
Hisoka Matsumura
(1835年～1919年)

どんな人物だった?

上越市出身の前島 密は、郵便制度の礎を築いた日本文明の一大恩人。人一倍真面目で勤勉、そして先見の明を持った人物で、国を一つにまとめ上げるという大きな捉え方で日本近代化の実現に尽力した。彼の功績は、郵便事業を筆頭に、江戸遷都や国字の改良、海運業や新聞の発刊、電気通信事業、鉄道の開通など多岐にわたる。大隈重信や渋沢栄一、大久保利通らとのエピソードが数多く残る。

お土産はコレ!

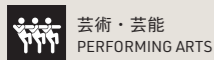


左から クリアファイル 200円、
絵はがき(5枚入り) 200円、
絵ろうそく 310円～

物語の世界観を落とし込んだオリジナルグッズ。絵本のようなあたたかみのある色合いとイラストに癒されよう



スタッフ
土田千恵美さん
Chiemi Tsuchida



小川未明文学館



data
新潟県上越市本城町8-30 高田図書館内
tel.025-523-1083
10:00～19:00(6～9月は～20:00。土日祝は～18:00)※2024年4月から変更予定
月休(祝の場合は翌日)、
第3月休ほか
入館料:無料 Pあり

「ロマンと社会主義を描く」「日本近代童話の父」

桜の名所として知られる高田城址公園内にある高田図書館1階に併設された小川未明文学館。上越が生んだ児童文学作家・小川未明の作品と彼のヒストリーについて触れることができる。「子どもたち向けの本を作る先駆けとなった人物。県内外問わず物語を読んできた来館されるお客様が多いです」と話すのはスタッフの土田さん。同館は、未明と郷土・童話体験・未明の生涯と文学といったテーマで構成されており、順路に沿って歩みを進めるたびに理解を深めることができる。一見、文学という難しそうな内容だが、子ども

たちも楽しめるように童話をアニメ化した映像や動かして遊べる仕掛け、塗り絵などが用意されている。約50年にわたる作家活動のなかで、未明の作風は時代とともに変化していく。大恋愛の末、最愛の女性と結ばれた20代は幻想的でロマンチックな作風が目立ち、社会主義に傾倒した30代は労働者を主人公にした話などを書くようになったという。「44歳で小説の筆を絶ち『童話作家宣言』をした未明。代表作のほとんどがこの宣言をする前に書かれたもので、その童話が現代でも読まれているんです」と土田さん。「日本近代童話の父」と呼ばれる小川未明の作品は今も多くファンに親しまれている。

先を見通す力に優れた「日本で最初の近代人」

前島密(幼名は上野房五郎)の生誕の地・上野家屋敷跡に建つ前島記念館。1931年に地元有志団体によって設立され、1994年に現在の形に改装された。建物の横には前島の功績が刻まれた高さ5メートル・重さ7トンにもなる国内最大級の石碑が鎮座し、館内には彼の生涯と業績について学べる歴史史料が数多く展示されている。「生前、前島さんは記念碑なんか作らなくていいって言ったんだそう。日頃から質素節約で、人のため世のためと常に言っていた人だから、天国で余計なものを作ったなって思っているかも」と笑うのは館長の利根川さん。前職は上越市

春日山郵便局の局長を務めていた。本館1階は前島が生きた84年の足跡を記した一代記や見聞録のコーナーから始まり、活躍と業績に関わる100点以上の史料を見ることが出来る。「若い頃は師を求めて津々浦々を巡り、操船術や測量、英語、数学などの学問を身に付けました。徳川幕府の幕臣や明治政府の高官になると、持ち前の行動力と手腕を発揮して日本近代化に貢献。郵便の父と言われる所以は、1871年、彼の発議によって郵便事業が始まり、その育成と発展に努めたことにあります」。2階へ上がると、前島家の家族写真をはじめ、趣味で嗜んでいた書や尺八などが展示されている。真面目で謙虚な人柄は私生活にも現れており、愛妻家としての一面も伺える。

お土産はコレ!



前島密のキッテサブレ
8枚入り 2,492円

前島 密が描かれた切手をモチーフにしたサブレ。箱はポストに投函できるのでぜひ活用してみてください!



館長
利根川文男さん
Fumio Tonegawa



前島記念館



data
新潟県上越市下池部1317-1
tel.025-524-5550
9:00～16:00
月休(祝の場合は翌日)
入館料:無料
Pあり

「小林古径」とは?



画室にて(昭和24年頃) 提供:小林古径記念美術館

上越市出身の日本画家の巨匠

明治・大正・昭和へと移る激動期のなか、日本美術院を舞台に活躍。写生を基とするなかで大和絵や琳派、日本の古画などを徹底的に研究し、近代的な感覚を取り入れて熟成させた「新古典主義」と呼ばれる画境に到達。近代日本美術史におけるひとつの頂点を築いた。1950年には新潟県人で初となる文化勲章を受章。



小林古径
丘(昭和26年)
小林古径記念美術館蔵



小林古径
牡丹(未完・絶筆)
小林古径記念美術館蔵

古径さんのうちで ひとやすみ



敷地内には東京都大田区南馬込から移築復原した小林古径邸がある。建築家・吉田五十八が設計した近代数寄屋建築で、現在は国登録有形文化財となっている。畳や縁側に座ってのんびり景色を楽しむのもおすすめ



広い庭園では
季節のイベントも!



右が小林古径邸、左が画室。建物前の庭園では秋には紅葉ライトアップ、冬にはキャンドルナイトなど古径邸に親むイベントも行われる

クリアすると
プレゼントがもらえる!



回答を終えた用紙を受付に提出すればミッションクリア! 小林古径の絵画を用いたオリジナルグッズがプレゼントされる

答えは
P.94

上越
方言クイズ
(第2問)

Q.「せってなる」はどういう意味でしょう?

- ▶ A. おっしゃっている
- ▶ B. 設定する
- ▶ C. 絶対になる

子どもと一緒に 2

小林古径記念美術館で

美術館デビューしよう!

美術館って敷居が高いイメージがあるし、子どもと一緒に
行ったら迷惑かな…。そんな心配は無用!
親子で美術館を楽しもう!



『きっず★アートチャレンジ』
に挑戦だ!

開かれた地域の美術館を目指し、小さな子どもに美術館に親しんでもらうための取組を行っている小林古径記念美術館。『きっず★アートチャレンジ』は子どものための美術館ガイド。小林古径のことや美術館に展示されている作品のこと、日本画の絵の具に関することなど全部で7つの設問があり、すべてに回答するとプレゼントももらえる。小学生対象だが、保護者と一緒に小さな子どもも挑戦可能だ。現在は写真のvol.1に加えvol.2も展開。好きな方を選んで挑戦できる。



(左)うたきん (右)みそらちゃん



館内に加え、屋外にも
クイズが。敷地内の
散策とともに楽しもう



これはどんな作品かな?

展示会場の看板の文章には読み仮名がふられ、子どもでも読みやすい。親子で一緒に作品への理解を深めよう

とっても素敵だね



作品鑑賞しながらクイズに挑戦。「作品に触らないようにね」「お話する時はちいさな声で」などのルールも学べる



二ノ丸ホールにはアートなおもちゃや絵本を用意。気軽にアートに触れられる。イスやテーブルが用意され、休憩も可能

小さなお子様にも、
絵を見たりおもちゃ
で遊んだりしながら
美術館に親しんで
いただきたいです

学芸員
小川陽子さん
Yoko Ogawa





MYOKO CITY Culture Tourism
01 妙高山
みょうこうさん



木曾義仲や上杉謙信公も登った信仰の山
越後富士とも呼ばれる日本百名山のひとつ

新 湯を代表する山のひとつで、日本百名山や北信五岳としても親しまれている。例年7月から10月の登山時期には、多くの登山愛好家で賑わう。登山道から観察できる豊富な高山植物や、山頂から臨む野尻湖をはじめ、360度の大自然など、雄大な自然に癒やされること間違いなし。

data
新潟県妙高市関山
tel.0255-86-3911
(妙高高原観光案内所)
Pあり



MYOKO CITY Culture Tourism
03 いもり池
いもりいけ



四季折々の風景を楽しめる池
晴れた日の水面に映る「逆さ妙高山」は絶景

日 本百名山の妙高山を映し出す池で、昔はイモリが多く息していたことからこの名がつけられている。池の周りには1周15分ほどの遊歩道があるので気軽に自然散策を楽しめる。遊歩道沿いにある石碑には、歌人・与謝野晶子とその景色の美しさから着想を得て詠んだ歌が刻まれている。

data
新潟県妙高市関川
tel.0255-86-3911
(妙高高原観光案内所)
Pあり



MYOKO CITY Culture Tourism
02 惣滝
そうたき



日本の滝百選にも選定された名瀑
新緑と紅葉の時期は格別の美しさ

頸 城山塊・妙高山を源とする太田切川の上流・大倉沢にかかる滝。落差80メートル、幅6メートルの直瀑で、断崖の上部から勢いよく水が滑り落ちる様子は迫力満点。滝には温泉成分が含まれているので、硫黄のにおいも一帯に立ち込める。紅葉の名所でもあり、紅葉と滝の眺めも見事。

data
新潟県妙高市関山燕温泉
tel.0255-86-3911
(妙高高原観光案内所)
Pあり



MYOKO CITY Culture Tourism
04 苗名滝
なえなたき



新潟と長野の県境を流れる関川にかかる滝
絶え間なく響く水音は迫力満点

落 差55メートルを流れ落ちる水と音の豪快な様子から「地震滝」とも呼ばれ、日本の滝百選にも選ばれている。滝に向かう道中の石碑には、俳人・小林一茶が苗名滝で詠んだ俳句が刻まれている。春は滝の水量が多く、より迫力ある水音を楽しめるので、スリルを味わいたい方はぜひ。

data
新潟県妙高市杉野沢
tel.0255-86-3911
(妙高高原観光案内所)
Pあり



MYOKO CITY Culture Tourism
05 天神社の大杉
てんじんじやのおおすぎ



天神社境内にそびえ立つスギの巨木
1941年に国の天然記念物に指定

高 さ28メートル、幹回り8.7メートル、樹齢推定1,200年という、妙高市内に現存する最も古いスギの巨木で、天神社の御神木として崇められてきた。また境内には、スギやイタヤカエデ、ヤチダモなどの大木数本と多種の木々が群生していることで、古くから「天神森」とも呼ばれている。

data
新潟県妙高市関川1578
tel.0255-74-0035
(妙高市教育委員会)
Pなし



MYOKO CITY Culture Tourism
06 関山神社
せきやまじんじや



妙高山信仰の拠点となる神社
約1,300年の歴史をもつ火祭りも必見

7 08年に裸行上人が開山したと伝えられている妙高山の里宮。木々に囲まれた厳肅な雰囲気漂う宮殿は国の有形文化財にも登録。毎年7月に行われる大祭・火祭りは山岳信仰を伝える伝統行事で、ひととき盛り上がる演武・仮山伏の棒遣いは、県の無形民俗文化財に指定されている。

data
新潟県妙高市関山4804
tel.0255-86-3911
(妙高高原観光案内所)
Pあり



MYOKO CITY Culture Tourism
07 関川関所道の歴史館
せきかわせきしよみちのれきしかん



江戸時代の重要な関所を再現
歴史を伝えるミュージアム

五 街道(東海道、中山道、日光街道、甲州街道、奥州街道)に次ぐ重要な交通路として発達した北国街道。その街道の要衝であった関川の関所を当時のまに再現している。文献資料やジオラマが展示され、参勤交代や佐渡の金銀の輸送など、物流を支えた当時の様子がかがえる。

data
新潟県妙高市関川272
tel.0255-86-3280
9:00~17:00
(入館は~16:30)
営業は4/10~11/30
(営業期間中は無休)
入場料:高校生以上500円、
小・中学生300円
Pあり



MYOKO CITY Culture Tourism
08 スゲ細工
スゲざいく



手仕事ならではの素朴なぬくもりが魅力
雪国で育まれた伝統の技を今に伝える

平 丸地区に伝わる「スゲ細工」は、乾燥させたスゲの葉で作る民芸品。冬の収入源として作られ始め、ピーク時には200人ほどの作り手がいた。現在は平丸スゲ細工保存会が伝統技術を受け継いでいるほか、上越市板倉区釜塚にある資料館「つなぐ」では作り方や歴史を発信している。

data
問:平丸スゲ細工保存会
(柴野)
tel.090-3548-7370



ITOIGAWA CITY Culture Tourism 自然・環境 NATURE

15 明星山

石灰岩で作られた大迫力の岩峰
ロッククライミングの名所としても有名



飛 驛山脈北部に位置する標高1,188メートルの明星山は、荒々しくそびえる岩壁が迫力ある姿。ロッククライミングのゲレンデとしても有名で、全国のクライマーも多数訪れている。麓にある日本最初のヒスイ産地、小滝川ヒスイ峡や水鏡が評判の高浪の池などもぜひ訪れてみて。

data
新潟県糸魚川市小滝
tel.025-555-7344
(糸魚川市観光協会)
Pあり

ITOIGAWA CITY Culture Tourism 自然・環境 NATURE おやしらずコミュニティ・ロード

16 親不知 コミュニティ・ロード



日本の道100選、土木遺産に選定 断崖を開削して造られた歴史ある道

北 アルプスが日本海に落ち込んでできた断崖が親不知・子不知海岸。交通の難所であるこの地に先人の知恵と努力で造られた旧国道を遊歩道として利用。昔からある海岸の道、国道8号、北陸自動車道、そして遊歩道となった旧国道と、4世代の道路が一望できる名スポット。

data
新潟県糸魚川市市振
tel.025-555-7344
(糸魚川市観光協会)
Pあり

ITOIGAWA CITY Culture Tourism 自然・環境 NATURE うみだにこうち

13 海谷高地



目を奪われるほどの絶景から「越後の上高地」と呼ばれる景勝地

キ ャンプ場として人気の海谷三峽パークから険しい登山道を歩いてたどり着く海谷高地。千丈ヶ岳や駒ヶ岳などの断崖絶壁を背景に、穏やかな海川が流れる景勝の高地で「越後の上高地」とも称され、全国から登山客が訪れている。春の新緑、秋の紅葉の景色は息をのむほど素晴らしい。

data
新潟県糸魚川市御前山
tel.025-552-0268
(西海地区公民館)
Pあり

ITOIGAWA CITY Culture Tourism 自然・環境 NATURE おやしらず・こしらず

14 親不知・子不知



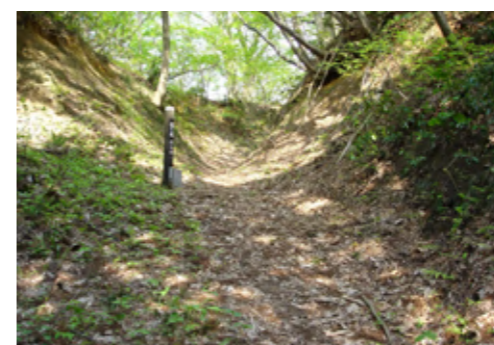
「北陸道最大の難所」とされた日本海の荒波が生み出した断崖絶壁

約 15キロにも及ぶ海岸線の総称。地名の由来はいくつかあるが、そのひとつに「断崖絶壁と荒波が通行人の行く手を阻み、通行の際に親は子を、子は親を互いに顧みる余裕がなかった」とする説がある。道中にある親不知記念広場からは、親不知の海岸線や険しい崖を一望することができる。

data
新潟県糸魚川市市振
tel.025-555-7344
(糸魚川市観光協会)
Pなし

ITOIGAWA CITY Culture Tourism 自然・環境 NATURE しおのみち

11 塩の道



日本海の塩を内陸に運んだ昔の街道「塩の道」として今も親しまれている

塩 の道とは、糸魚川と長野県の松本を結ぶ、約120キロの松本街道のこと。塩荷などの生活物資を、歩荷(ぼっか)と呼ばれる人や牛が運搬した名残は今もそこかしこに感じられる。また、戦国武将の上杉謙信公が敵陣の武田信玄に塩を送った「義塩」の故事はここで誕生したといわれている。

data
新潟県糸魚川市～
長野県松本市
tel.025-555-7344
(糸魚川市観光協会)
Pなし

ITOIGAWA CITY Culture Tourism 自然・環境 NATURE つきみずのいけ

12 月不見の池



地滑りで造り出された荘厳な池 藤の花が咲く5月は特に見ごろ

昔 の巨大な地滑りで集まった巨岩や奇岩からなる窪地に、湧水が溜まったことで誕生した月不見の池。池を取り囲むように生い茂る樹木と藤づるで、池に映る月が見えなくなることからこの名が付いたとか。毎年5月には「藤まつり」が開催され、多くの観光客が訪れている。

data
新潟県糸魚川市上出419
tel.025-555-7344
(糸魚川市観光協会)
Pあり

ITOIGAWA CITY Culture Tourism 自然・環境 NATURE たかなみのいけ

09 高浪の池



一年中満々と水をたたえる高原の池 四季折々の景観美を堪能できる

白 馬山麓国民休養地内にある標高540メートルの池で、過去の大きな地滑りでできたとされており、水深は13メートルにも及ぶ。豊かな自然が残るこの池では巨大魚の目撃が相次ぎ、地元では親しみをこめて「浪太郎(なみたろう)」「翠(みどり)」の愛称で親しまれているという。

data
新潟県糸魚川市小滝19336
tel.025-556-2327
(ヒーリングガーデンたかなみ)
Pあり

ITOIGAWA CITY Culture Tourism 自然・環境 NATURE

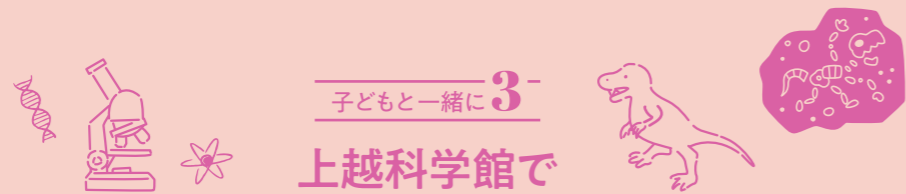
10 不動滝

迫力と清涼感が魅力の不動滝 周辺の散策と合わせて楽しもう



落差70メートルの高さから豪快に流れ落ちる不動滝は迫力満点。さらに、滝つぼの近くには水の神様が祀られていて、滝に石を投げると大雨を降らせるという伝説があるとか。周辺には、不動滝と対照的な細い糸が流れているような「糸滝」や公園、キャンプ場があり老若男女に親しまれている。

data
新潟県糸魚川市大谷内
tel.025-552-3100
(今井地区公民館)
Pあり



子どもと一緒に3
上越科学館で

科学を体験しながら楽しもう

9ゾーンで構成された科学館。地元・上越の自然や歴史を反映した展示にも注目を。

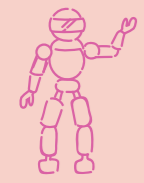


迫力満点!
動く恐竜「ティラノ」!

リアルに動いて吼える、ティラノサウルスの模型。古生物学的・解剖学的に正しい骨格に基づく正確な動きの再現が可能

生命や体の
不思議を学ぼう

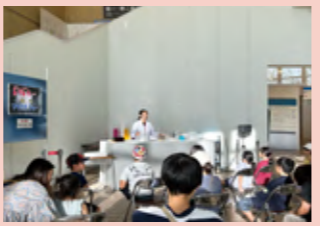
上はCゾーン「からだのしくみ」にある大きな脳の模型。右はBゾーン「生命の不思議」の展示。生命誕生の仕組みや成長の過程を学ぼう



Eゾーン「くらし・環境・エネルギー」の天然ガス埋蔵場所を探索するゲーム。古くから石油や天然ガスが採掘されてきた上越らしい展示だ



ロビーでは、月替わりのサイエンスショーを土・日、祝日を中心に実施。実験を通して、科学の不思議を楽しく理解することができる



史跡・建造物
HISTORIC SITES & BUILDINGS

上越科学館

「人間の科学」「雪の科学」をテーマに1984年に開館。イベントや実験、展示物を通して、「みて、ふれて、たしかめて」体験しながら楽しめる施設だ。館内には、人間の進化や人間の体について考えるA～Dの4つのゾーンと、地球の環境や未来を考えるE～Gの3つのゾーン、体を動かして遊べるH・Iの2つのゾーンがあり、それぞれのテーマごとに分かりやすく展示されている。Gゾーン「生命の進化と環境」にある、迫力満点の恐竜ロボット・ティラノは見どころのひとつだ。また科学に対する興味、関心を高め、広げてほしいと、自然観察教室やサイエンスショー、青少年のための科学の祭典、発明工夫・模型・工作展、標本作品展などさまざまな催しを行っている。

data 新潟県上越市下門前446-2 tel.025-544-3939 9:00～17:00(入館は～16:30。特別展期間は～18:00、入館は～17:30) 月、祝の翌日休(春休み、夏休み期間は無休) 入館料:大人620円、小・中学生310円、シニア460円(特別展期間は変動) Pあり



屋外のサイエンスプレイパークも楽しい!

【ゾーン「サイエンスプレイパーク」には複合遊具やサイエンスパイクル(おもしろ自転車)がある。悪天候等で閉園する場合あり



上越
方言クイズ
(第3問)

Q.「おまん、勉強しない」とは、どんな意味でしょう?

- ▶ A. おまんじゅうの勉強をしません
- ▶ B. あなたは勉強をしない
- ▶ C. あなた、勉強しなさい

答えは
P.94

ITOIGAWA CITY Culture Tourism
みちのえき マリンドリームのうち
道の駅
マリンドリーム能生
生活文化 LIFE CULTURE



日本海沿岸ならではの鮮魚や魚介類加工品などのお土産が充実した道の駅

ニズワイガニ直売所が軒を連ねる「かにや横丁」と、海の幸を販売する「鮮魚センター」からなる。能生漁港で獲れたベニズワイガニを茹で時間や塩加減にこだわりを持つ各店の味の違いを楽しめる。購入したカニは隣接する休憩所で食べられるほか、お食事処では新鮮な海の幸も味わえる。

data 新潟県糸魚川市能生小泊3596-2 tel.025-566-3456 9:00～17:00 (季節・施設により異なる) 無休(かにや横丁は1・2月休) Pあり

ITOIGAWA CITY Culture Tourism
バタバタ茶
食 LOCAL FOOD



バタバタと立てた泡のお茶は江戸時代から続く糸魚川伝承の風習

糸魚川に伝わるバタバタ茶とは煮出したお茶に少量の塩を入れ、茶せんでバタバタと泡立てて飲む風習のこと。糸魚川市内で唯一、谷村美術館に隣接する玉翠園でバタバタ茶を点てる体験ができる。夫婦茶筌で点てたクリーミーな泡と5種類の茶葉を合わせた香り高いお茶を堪能してみよう。

data 【玉翠園・谷村美術館】新潟県糸魚川市京ヶ峰2-1-13 tel.025-552-9277 9:00～16:30 (入館は～16:00) 火休 バタバタ茶体験料500円(要予約。谷村美術館に入館の場合は別途入館料大人700円、高校生以下無料) Pあり

ITOIGAWA CITY Culture Tourism
くびきじてんしゃどう
久比岐自転車道
史跡・建造物 HISTORIC SITES & BUILDINGS



旧国鉄の廃線を利用した全長約32キロのサイクリングコース

旧国鉄北陸本線の線路跡地を利用した、自転車と歩行者の専用道路。上越市から糸魚川市までの約32キロの距離で、国道8号に並行して海沿いを走るルートは日本海の美しい風景を楽しめる。トンネルや橋の一部には旧国鉄当時のままのレンガが使用され、線路の面影を感じられる。

data 新潟県上越市生岩戸～新潟県糸魚川市中宿(国道8号沿い) tel.025-526-9326 (久比岐自転車道魅力アップ実行委員会事務局) Pあり

ITOIGAWA CITY Culture Tourism
いとがわれきしみんぞくりょうかん (そうまぎょうふうなんかん)
糸魚川歴史民俗資料館 (相馬御風記念館)
史跡・建造物 HISTORIC SITES & BUILDINGS



歌人、翻訳家、郷土研究家と多彩に活躍した糸魚川出身の相馬御風の資料がズラリ

通称「相馬御風記念館」と呼ばれている資料館。相馬御風は糸魚川出身の文化人で、明治から昭和にかけて歌人・作詞家・郷土研究家のほか、良寛研究の第一人者として活躍。館内には相馬御風の資料を展示するほか、俳諧研究家の木村秋雨の収集資料も一部公開している。

data 新潟県糸魚川市一の宮1-2-2 tel.025-552-7471 9:00～17:00 (入館は～16:30) 月休(祝の場合は翌日)、祝の翌休 入館料:一般300円、小中高生無料 Pあり



冬
12~2月

灯の回廊
上越市の冬の風物詩。安塚区、大島区、浦川原区、牧区、高土区、名立区、三和区の沿道などにおよそ10万本のキャンドルが灯る。会場ごとに異なる演出は必見。
data 会場:上越市内7地区
問:上越市観光振興課 tel.025-520-5741



秋
9~11月

おててこ舞(根知山寺の延年)
おててこ舞は根知山寺集落に伝わる新潟県内唯一の延年芸能で、延年とは「芸能によって心を和らげ寿命を延ばす」という願いが込められている。
data 会場:日吉神社
問:糸魚川市観光案内所 tel.025-553-1785



夏
6~8月

上越まつり
高田地区、直江津地区でそれぞれ開催され、ひとつの神輿がふたつの地区を結ぶ。神輿の川下りや大花火大会、御饅米(おせんまい)奉納などが行われる。
data 会場:上越市高田、直江津両地区 問:上越まつり委員会事務局(上越観光コンベンション協会) tel.025-543-2777



春
3~5月

舂原祭(そうげんさい)
妙高三大祭りのひとつで雪深い妙高原に春の訪れを告げる催し。ステージイベントや屋台村の開設、フィナーレでは火文字と華やかな花火が夜空を彩る。
data 会場:池の平温泉いもり池周辺
問:舂原祭実行委員会事務局 tel.0255-86-2412



はだか胴上げまつり
ふんどしを締めたる若衆が、厄年の人をつかまえて「サッシャゲ、サッシャゲ」のかけ声とともに堂内を歩く奇祭。
data 会場:藤崎観音堂
問:糸魚川市文化振興課 tel.025-552-1511



糸魚川荒波あんこう祭り
糸魚川の漁港で水揚げされたアンコウを存分に味わえる。アンコウの吊るし切りやアンコウ汁の販売などを実施。
data 会場:糸魚川市内3会場
問:糸魚川市観光協会 tel.025-555-7344



越後・謙信SAKEまつり
商店街通りを歩行者天国にし、上越地域の地酒などを一堂に集め、お酒を試飲しながらグルメも堪能できる。
data 会場:上越市高田本町商店街
問:越後・謙信SAKEまつり実行委員会 tel.025-521-2627



奴奈川姫と大ウス祭り
弥生時代へのタイムスリップを体験できる。奴奈川姫行列や神事の舞が実施されるほか、日本一の大ウスも登場。
data 会場:道の駅 マリンドリーム能生
問:奴奈川祭り実行委員会 tel.025-566-2244



能生ふるさと海上花火大会
弁天岩から扇状に広がる『水中爆雷』と、弁天岩の上で炸裂する『爆雷』が名物。約2,000発が打ち上がる。
data 会場:能生弁天浜
問:能生商工会 tel.025-566-2244



妙高山関山神社火祭り
1,300余年の伝統を誇るお祭り。関山神社氏子若者会が、仮山伏の棒術、松引き、神輿渡御などを行う。
data 会場:関山神社
問:妙高高原観光案内所 tel.0255-86-3911



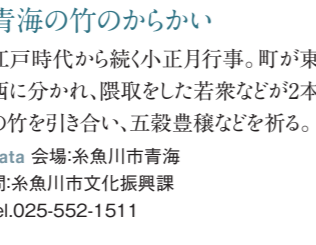
天津神社春大祭(糸魚川けんか祭り)
五穀豊穡を祈って2基の神輿をぶつけ合う。国の重要無形民俗文化財に指定されている舞楽も奉納される。
data 会場:天津神社
問:糸魚川市観光案内所 tel.025-553-1785



日本海大漁浜汁まつり
能生名物の浜汁を味わい、日本海の大漁を祝う。カニ食べ放題、特製汁の販売、鮮魚競り市などを実施。
data 会場:道の駅 マリンドリーム能生
問:道の駅 マリンドリーム能生 tel.025-566-3456



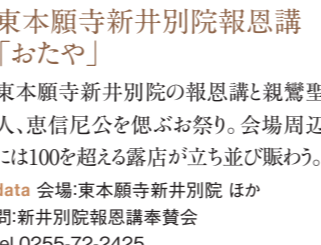
青海の竹のからかい
江戸時代から続く小正月行事。町が東西に分かれ、隈取をした若衆などが2本の竹を引き合い、五穀豊穡などを祈る。
data 会場:糸魚川市青海
問:糸魚川市文化振興課 tel.025-552-1511



東本願寺新井別院報恩講「おたや」
東本願寺新井別院の報恩講と親鸞聖人、恵信尼公を偲ぶお祭り。会場周辺には100を超える露店が立ち並び賑わう。
data 会場:東本願寺新井別院 ほか
問:新井別院報恩講奉賛会 tel.0255-72-2425



あらいまつり
1973年から開催されている市民祭。長さ80メートル、太さ40センチ、重さ1トンの大綱を持った若衆がまちを練り歩く。
data 会場:妙高市役所周辺 ほか
問:あらいまつり実行委員会事務局 tel.0255-74-0019

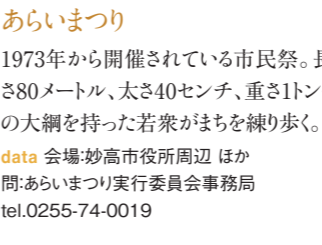


藤まつり
地元愛好家が丹精こめて育てた藤の展示と品評会が行われる。鉢植えの藤が県道沿いに並ぶ様は見ごたえ十分。
data 会場:糸魚川市新町地区周辺
問:糸魚川市観光案内所 tel.025-553-1785



その他のイベント

- 11月中旬~3月中旬 <上越市> 上越妙高駅イルミネーション 問:上越市交通政策課 tel.025-520-5632
- 12月中旬~3月中旬 <糸魚川市> 糸魚川荒波あんこうフェア 問:糸魚川市観光協会 tel.025-555-7344
- 1月中旬 <妙高市> ダイナマイトカーニバル 問:杉野沢観光協会 tel.0255-86-6000
- 1月14日・15日 <糸魚川市> 能生白山神社 お筒粥の神事・献灯祭 問:糸魚川市能生事務所 tel.025-566-3111



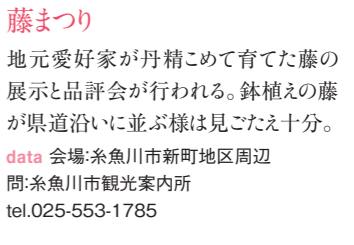
その他のイベント

- 9月上旬 <糸魚川市> 日本海クラシックカーレビュー 問:糸魚川市観光案内所 tel.025-553-1785
- 9月下旬 <上越市> 大池まつり 問:頸城のまつり実行委員会(NPO法人頸城区観光協会) tel.025-520-6121
- 10月中旬 <妙高市> 越後妙高コシヒカマラソン大会 問:越後妙高コシヒカマラソン大会実行委員会事務局 tel.0255-72-3665
- 10月上旬~11月上旬 <妙高市> 妙高芸術祭 問:妙高芸術祭実行委員会事務局 tel.0255-74-0035



その他のイベント

- 4月下旬~5月上旬 <妙高市> いもり池 水ばしう祭り 問:池の平温泉観光協会 tel.0255-86-2871
- 4月24日 <糸魚川市> 能生白山神社春季大祭 問:糸魚川市文化振興課 tel.025-552-1511
- 5月上旬 <糸魚川市> 糸魚川・塩の道起点まつり 問:糸魚川市観光案内所 tel.025-553-1785
- 5月下旬 <上越市> 米山山開き登山 問:柿崎観光協会 tel.025-536-9042



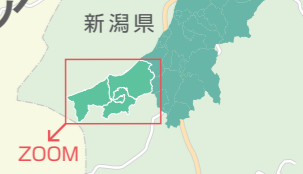
その他のイベント

- 6月20日~22日 <上越市> お引き上げ商工まつり 問:柿崎観光協会 tel.025-536-9042
- 7月中旬~8月中旬 <上越市> 高田城址公園観蓮会 問:高田城址公園観蓮会実行委員会事務局(上越観光コンベンション協会) tel.025-543-2777
- 7月下旬 <糸魚川市> おうみ祭り・糸魚川大花火大会 問:おうみ祭り実行委員会 tel.025-562-2352
- 8月上旬 <糸魚川市> 糸魚川おまんた祭り 問:糸魚川おまんた祭り事務局 tel.025-552-6570

糸魚川駅周辺MAP



上越エリアMAP



糸魚川駅周辺MAP



高田駅周辺MAP





INFORMATION

NIIGATA Culture Tourism
オフィシャルサイト
<https://n-story.jp/nct/>



新潟県の文化情報

新潟の地域文化を紡ぎ繋げる



<https://n-story.jp/>

新潟県の観光情報



<https://niigata-kankou.or.jp/>



NIIGATA Culture Tourism

上越エリア

2024.1.15 発行

協力

上越市、糸魚川市、妙高市

(公社)新潟県観光協会

(公社)上越観光コンベンション協会

(一社)糸魚川市観光協会

妙高観光局

糸魚川ジオパーク協議会

頸城区観光協会

編集 株式会社ジョイフルタウン

印刷 株式会社DI Palette

発行元 新潟県 観光文化スポーツ部 文化課

〒950-8570 新潟県新潟市中央区新光町4-1

tel.025-280-5619



NIIGATA Culture Tourism

Travel Model Course

新潟の文化を体感できる旅のモデルコース

旅のイメージを膨らませるためのモデルコースをご案内。

下記のモデルコースと本誌を参考にして、旅の計画をしてほしい。

魚沼エリア

UONUMA



魚沼の郷土料理に
満たされる旅



魚沼の方言に
親しむ旅



上越エリア

JOETSU



上越の郷土料理に
満たされる旅



上越の方言に
親しむ旅



新潟・佐渡エリア

NIIGATA・SADO



佐渡・新潟の伝統芸能に
触れる旅



新潟の方言に
親しむ旅



新潟の郷土料理に
満たされる旅



ほくほく線って？

雪にも負けないタフなローカル線

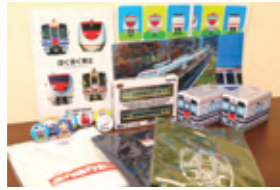
南魚沼市の六日町駅から上越市の犀潟(さいかた)駅まで12駅を結ぶ地方鉄道。「ほくほく線」の名で親しまれ、地元の高校生たちを中心に年間90万人以上が利用している。世界屈指の豪雪地帯を力強く走るその姿は多くの鉄道ファンを虜に。また、高性能・高規格な運転設備を備えており、積雪に負けない雪国仕様のオリジナル車両はもちろん、一般的な電車の運転速度よりも早い時速95キロメートルで走行しているという点も大きな特徴だ。



北越急行株式会社 営業企画課長
村山正樹さん
Masaki Murayama

観光客の方からマニアの方まで幅広い人々が楽しめる鉄道です

グッズもあるよ!

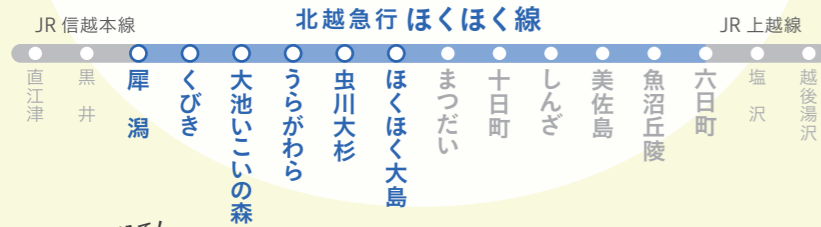


クリアファイルやTシャツなど、ほくほく線のオリジナルグッズを販売している。上越市内では、一部グッズのみ道の駅「雪のふるさとやすづか」で購入可。



ほくほく線に揺られて
ぶんかさんぽ

のどかな沿線に点在する文化スポット。
上越の自然と食、アートを巡る旅へ



ココ、立ち寄ってみて!

樹下美術館

長岡市出身で上越で活躍した陶工・齋藤三郎と、上越市出身の画家・倉石隆の作品を展示する美術館。館内にはカフェが併設されており、おすすめは「ベーグルサンドセット」。緑豊かな庭園を眺めながら心地よい時間を過ごすことができる。

館長 杉田 玄さん



ベーグルサンドセット 1,200円

じゅかびじゅつかん 樹下美術館

data 新潟県上越市頸城区城野腰451
tel.025-530-4155
10:00~17:00
水休(祝日の場合は営業。2024年は3/15金~12/15日の期間中営業) 入館料:大人300円、中学生100円、小学生50円(カフェのみの利用は入館無料) Pあり

田園に現れる宇宙船のような駅舎

1997年3月22日のほくほく線開業に合わせて建設されたくびぎ駅。設計を手掛けたのは建築家の毛綱毅曠(もずなきこう)氏。宇宙船を彷彿とさせる半卵型の特異な外観が目目を引く。駅内部には雲をデフォルメしたようなパネルや太陽系をモチーフにしたガラス窓があしらわれている。



くびぎ駅

くびぎ



ココ、立ち寄ってみて!

雁金城跡

大池いこいの森にある大池の東に位置する標高156メートルの山城跡。戦国時代には上杉謙信の本城・春日山城を守る砦のひとつとして、本城から魚沼へ続く道の監視役を果たしていた。頂上からは妙高連山や日本海を望むことができる。山城の独特な形状や景色を楽しみながら散策を試みよう。地元の有志によって毎年8月に開催される「謙信公祭 狼煙上げ」は一見の価値あり。

かりがねじょうせき

雁金城跡

data 新潟県上越市頸城区花ヶ崎
問:頸城区観光協会 tel.025-520-6121



ココ、立ち寄ってみて!

浦川原物産館

地元の特産品や採れたての上越野菜などが並ぶ直売所。お土産におすすめの「笹だんご」や、地元住民が手作りした「えご」、「おやき」が人気。



うらがわらぶっさんかん

浦川原物産館

data 新潟県上越市浦川原区顕聖寺619-1
tel.025-599-2387
10:00~17:00 火水休 Pあり

売れ筋ベスト3!



コレ、食べてみて!

日本一うまいトコロテン

夏になると行列ができるほど人気のところてんの専門店。材料は湧き水と天草のみ。酢醤油や青じそドレッシングをかけ、一本箸で食べよう。



5代目店主 武江 稔さん



ところてん 400円

ココ、立ち寄ってみて!

虫川の大スギ

平安時代に創建されたと伝えられる白山神社の御神木。樹齢は1,200年以上で、国の天然記念物に指定されている。境内いっばいに枝を広げるその姿は実に壮観。神秘的なパワーとその大きさに圧倒されること間違いなし。



むしかわのおおすぎ

虫川の大スギ

data 新潟県上越市浦川原区虫川1429
問:浦川原区総合事務所 教育・文化グループ tel.025-599-2104

にほんいちうまいトコロテン

日本一うまいトコロテン

data 新潟県上越市大島区下達460-2 tel.025-594-3701
10:00~16:00 無休(2024年は4月第4土~10月スポーツの日の期間中営業) 席28 Pあり

犀潟



犀潟駅



大池いこいの森駅

大池いこいの森

うらがわら



うらがわら駅



虫川大杉駅

虫川大杉



ほくほく大島駅

ほくほく大島

おおしま



TAKE FREE